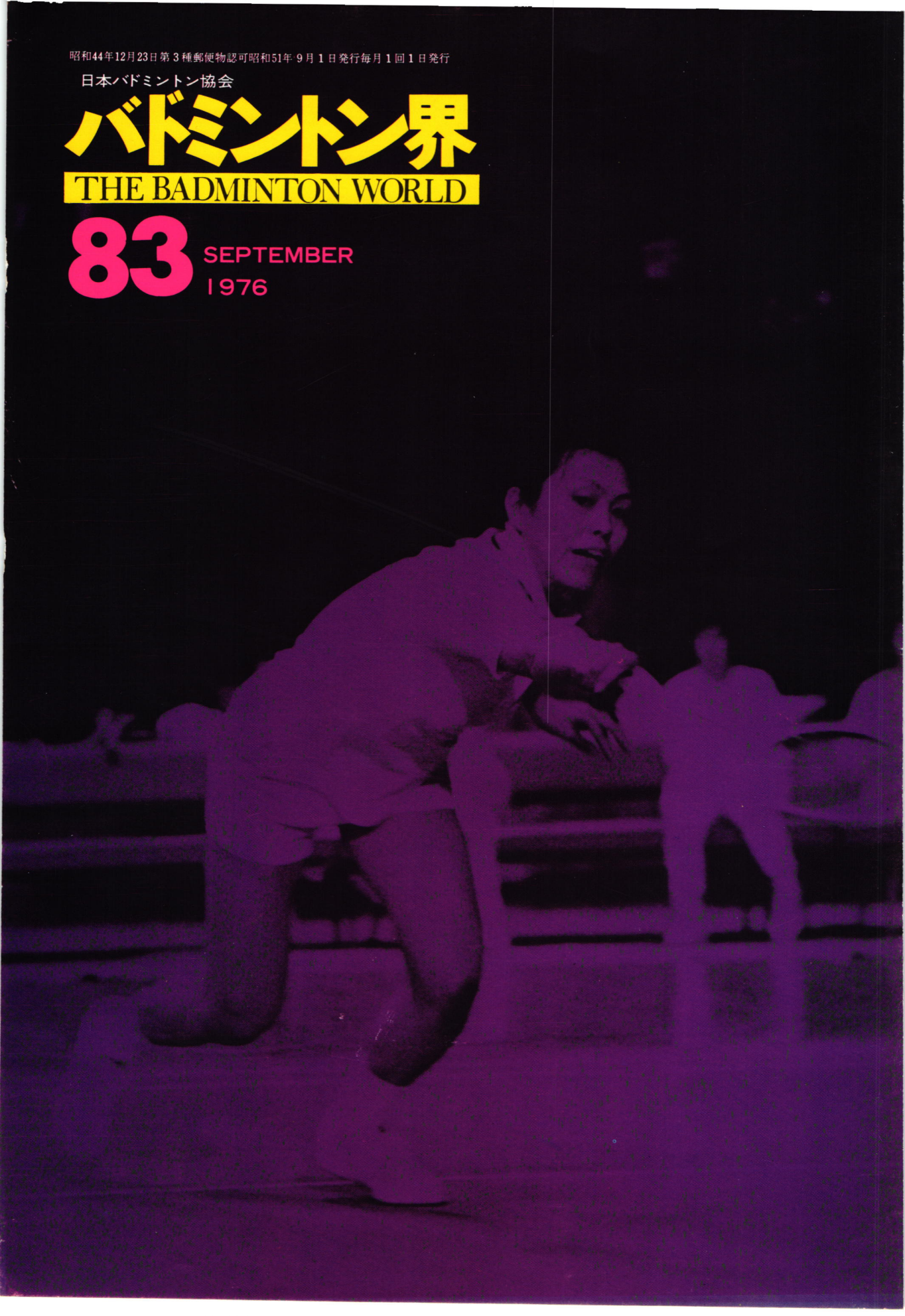
昭和44年12月23日第3種郵便物認可昭和51年9月1日発行毎月1回1日発行

日本バドミントン協会

# バドミントン界

# THE BADMINTON WORLD

83 SEPTEMBER 1976



## 本誌専用合本バインダー12月１日発売

バドミントン界１年分12冊を，穴もあけず，ノリも不要の便利な合本バインダーが12月１日に発売になります。定価 500円（送料実費）です。ご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あて申込冊数明記のうえお申し込みください。発売と同時に代金後払いでお送りいたします。

---

## 別冊 1977年バドミントン・カレンダー The Badminton World '77 が発行されます。

日本バドミントン協会では，昨年別冊 The Badminton World '76 カレンダーを発行し，大変ご好評をいただきましたが，今年は，全ページカラーで制作中です。大きさはＢ３判（週刊誌の４倍大）12ページ。定価 950円（送料実費）。収録選手は1976年の国内大会で好成績を収めた次の男女選手です。

◆男子◆小島一平・池田信孝・栂野尾昌一・銭谷欽治・飯野佳孝・土田証雄・長谷川博幸ほか

◆女子◆湯木博恵・栂野尾悦子・池田美加・徳田敦子・秋本八代美ほか

The Badminton World '77 カレンダーをご希望の方はハガキで下記日本バドミントン協会出版局あてお申し込みください。発行（11月中旬）と同時に代金後払いでお送りいたします。

---

## ●好評発売中 「ユーバー杯奪還への道」

「第７回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会」の全記録を収録。カラーを含む数十枚の写真によって各国出場選手のプレーを分析できる選手・指導者必携の書。

- 編集＝バドミントン界編集部
- 著者＝本田弘敏・小宮淳宏・小飼栄一・後藤忠弘・福井正康・宮永武司・中山紀子
- 写真撮影＝山田真市
- 定価 1,000円（送料 120円）

お申込みは下記日本バドミントン協会出版局へハガキでどうぞ。

---

**日本バドミントン協会出版局**

〒150 東京都渋谷区神南１－１－１
岸記念体育会館内

バドミントン界
THE BADMINTON WORLD
NO. 83

1976年9月号　　目次

表紙撮影，本文中写真・山田真市，読者　イラスト・中島　潔

◇'76オールスターダブルス◇
飯野・土田組が二年連続……4
二位には池田・栂野尾組
《グラビア》……18

◇昭和51年度全日本社会人選手権大会◇
男子単・銭谷が初優勝……2
女子単・湯木の四連覇
◇第27回五大都市体育大会◇……13

シャトルコックの素顔……大森　幸樹……6
1976年全英選手権大会不参加
およびアジアバドミントン招待選手権大会参加の経過について……28

●連載●お母さんや子供のバドミントンのためのシリーズ・第5回
今からバドミントンを始める皆さんへ……伊藤　基紀……26
●特別寄稿＝夜明けの時代をふりかえって―3
わが国バドミントンの発祥と協会発足の回想……広田　兼敏……32
●日本教職員バドミントン連盟編
審判に関する100問集⑤……34

新製品紹介コーナー・New Products Information……30

◎三級公認審判員になった人々の氏名発表……36
◎バドミントン界バックナンバー販売一覧表……38
◎編集室から……40

# 昭和51年度全日本社会人選手権大会

# 男子単・銭谷が初優勝
# 女子単・湯木の四連覇

## 台風とにらめっこ

昭和50年度全日本社会人選手権大会は9月12日から4日間おりからの停滞する雨台風の影響をまともに受け開催を危ぶまれたが、参加選手、役員の方々の努力で無事挙行された。

開催地宮崎市までの全国各地からの、新幹線、国鉄、フェリー等の不通にあって行なわれたこの大会に示す、バドミントン愛好者ならではの熱意をまず特筆しなければならない。

## 銭谷、冷汗の栄冠

**◇男子単**

現オールジャパンチャンピオン小島の欠場で銭谷（河崎ラケット）の楽勝かと思わせたが、土田（電々東京）の絶好調を裏書きするサウスポー独特のクロススマッシュ、出足の良いネットプレーに苦戦を強いられた。土田はこれを機にシングルスでも新しい境地を見い出すのではないだろうか。ダブルスでの活躍はもちろんのこと、シングルスにも、より一層の期待をしたい。

辛勝ではあったが銭谷の優勝も、日本を背負って立つシングルスプレーヤーの底力があった。

第一ゲーム先取の気のゆるみからか、第二ゲームをセッティングの末失い、ファイナルに入ってからもペースを取り戻すことができないまま7－13と窮地に追い込まれたが見事に立直ってセッティングに持ち込み、冷静な判断と、持ち前の豪快なスマッシュを随所にまじえ、苦境を乗り切った。

**▽決勝**

銭　谷　2（15－9、14－17、18－15）1　土　田

**銭谷選手の話**　今日の土田君のネットプレーは今まで見たこともないような素晴しいプレーでした。僕の調子自体はごく普通の出来でしたが、相手にあのようなネットをされることは、スピードが幾分なかったのかも知れません。ファイナルゲームの13本をとられた時も負ける気はしませんでした。けれどこの一年間、試合では秋山さん、小島さん以外の人にこれほど苦しんだことは無かったので、終わってみると良く勝てたなと言う気がします。

## 湯木、女王の貫禄

**◇女子単**

まるで台本があるかのようにこの数年、女子シングルスは湯木（河崎ラケット）の頭上に栄冠が輝く。今回もまたなんの波瀾もなく、判で押したように、決勝へ駒を進め、4年連続のチャンピオンの座を獲得した。

決勝で対戦した栂野尾（ヨネックススポーツ）も風格のあるプレーで強豪を破り決勝進出を果したが、湯木の牙城に迫るまでは至らなかった。

湯木も女王の座を維持するのは並大抵の精進でないことを想像すると心から拍手をせずにはいられない。

**▽決勝**

湯　木　2（11－3、11－2）0　栂野尾

（4年連続・4回目）

**湯木選手の話**　今回の台風のために途中から車で雨の中を走って来たので、いくらか心身共に疲れましたが、試合の方は別にとりたてて言うほど特別なことはありませんでした。

ダブルスはシングルスほど自信めいたものがないので、何時も不安で試合をしてみなければ

分らないのですが、今回はその悪い面が出てしまいました。気持が盛り上がらないままに終ってしまいました。

ダブルスと違ってシングルスには自信と言うか負けないと言う気持が不思議に生まれてくるので精神的に楽に試合が出来ます。今回もそうでした。

私は学生時代、高校、大学を通じてバドミントン一筋に練習してきました。真剣に、必死になってやってきました。年寄りじみた言い方ですが、今でも私は大学へよく練習しに行くので気付くのですが、私が学生だった頃とは内容が違うように思うのです。

私はバドミントンが好きでしたから与えられた練習時間により以上のものを求め、目標を持って練習したように思うのです。しかし今の学生は力があるのに与えられた練習を消化することに窮々としている。

こんな練習を見る限り、負ける気は起きてきません。力や素質はあるのに〝強いなあ〟と言う気がしないのです。

## 今泉・牧野が栄冠

**◇男子複**

激戦が予想された男子ダブルスは、文字通り台風の吹きまくった感があった。

優勝候補の一角を占めていた池田・尾崎（電々東京）が、梅野尾・飯野（ヨネックススポーツ）が相次いで敗れると言う番狂わせの中で決勝へ進出したのは、今泉・牧野（高岡市役所）、田所・土田（電々東京）であった。混戦を勝ち抜いてきた両ペアの今大会における安定感は、勝敗の予断を許さぬ興味を抱かせたが、今泉・牧野組の三年ぶりとは思えないコンビネーションの合ったプレーに軍配が上がった。

**▽決勝**

今泉
牧野 2 ｜ 15－8 15－5 ｜ 1 田所
8－15 土田

（3年ぶり2度目）

**今泉選手の話**　第一ゲームを取られはしたが別にあわてなかった。パートナーの牧野が実業団の大会で、団体戦、個人戦ともに田所・土田に勝っているので自信を持っていたようだ。だからとても気持の上で楽だった。パートナーにこのようにプレーされると、こちらもその気になってしまう。それに牧野にはスマッシュ力があるので心強かった。久し振りのペアで試合に出たのですが、一緒に練習している仲間だし、この大会で三年前に勝っているし、ゲンのいいペアなんでしょうか。

**牧野選手の話**　天の利、地の利が全て味方してくれました。本当にラッキーだったと思います。田所・土田組に対する自信など毛頭ないのですが、相性がいいのかも知れません。勝負は時の運ですから、全てを今泉さんにまかせて、僕はただ打ちまくって、拾いまくっただけですが、それが結果的に良かったと思います。

## 梅野尾・古谷、初優勝

**◇女子複**

ここでもまた湯木・池田（河崎ラケット）が、準決勝で谷・秋本（幸）（サントリー）に調子に乗れぬまま敗退するというアクシデントが起こり、決勝では梅野尾・古谷（ヨネックススポーツ）と、谷・秋本（幸）の顔合わせとなった。

試合のたびに目まぐるしくパートナーが変わる梅野尾は、古谷の長所をうまく引き出し、名ダブルスプレーヤーとしての実力をいかんなく発揮。古谷もそれに答えるかのように持ち味を充分に出し切った。

**▽決勝**

梅野尾
古谷 2 ｜ 15－11 15－3 ｜ 1 秋本
15－7 谷（幸）

**梅野尾選手の話**　今はとてもダブルスをやるのが楽しいです。相沢さんと組んでいた頃は、私は後衛でスマッシュを打っていれば良かったのですが、現在は前衛でなければ味わえない楽しさを味わっています。相手にスマッシュを打たせずに、味方の強打を誘い出すのは実に楽しいことだということを、私はつい最近、いろいろな人と組むようになってから感じています。古谷さんとも初めてのコンビなのですが、彼女の持ち味である粘っこいラリーを、どうしたら引き出せるだろうか、それだけを考えてプレーしました。今度はそれが、相手に下からシャトルを打たせるということと結び付いて成功したと思います。

**古谷選手の話**　もう無我夢中でした。思い切り走り回れました。梅野尾さんと組んでいると大舟にのった気持で、自由に、好きなことをやればいいんですから、私は走って、打ちまくりました。とにかく試合が終ってみると、動き回ったなあというのが実感です。

## 梅野尾夫妻が制す

**◇混合複**

梅野尾夫妻（ヨネックススポーツ）の独壇場だった。今年の実業団においても、今大会においてもこのペアほど安心して見ていられるのも稀である。

今井・池田（河崎ラケット）もよく健闘したが、あと一歩だった。

**▽決勝**

梅野尾
梅野尾 2 ｜ 15－9 15－7 ｜ 0 今井
池田

**梅野尾夫妻の話**　私達はお互いに、各ダブルス、シングルスに出場していて、重きをそちらに置いているわけですから、ミックスの試合は息ぬきのつもりでリラックスして出来ます。かえってそれがいい結果につながっているんじゃないでしょうか。

日本ではミックスに強い選手が出るようになって日が浅いのですが、もっと皆んなが出場して〝遊び〟のプレーをしたり、かわった雰囲気の中でシャトルを追うのも、何か得るものもあると思います。

'76オールスターダブルス

# 飯野・土田組が二年連続

## 二位には池田・栂野尾組

本年度の男子ダブルスのチャンピオンを決定する全日本バドミントン・オールスターダブルス'76が8月22日国立競技場代々木第2体育館で東京12チャンネル放映のもと華やかに開催されました。

前年度チャンピオン飯野・土田に対し各ペアとも持ち味を生かした好ゲームを展開しましたが、油ののりきった飯野・土田はその試練を何度となくかいくぐり、名実ともに二年連続の王座を死守しました。

準決勝では秋山・小島組の往年の名コンビぶりがいかんなく発揮され前半は飯野・土田組を翻弄、あわや第2ゲームもと思わせたが、次第にスピードが落ちセッティングをものにすることができなかった。

しかしこの秋山・小島の見せたプレーは数多くの現役プレーヤー、また我々にも大きな示唆を与えてくれたことは言うまでもなく、今後共、二人の健闘を期待したい。

決勝に入っても飯野・土田組の自信はゆるぎなく、池田・栂野尾組の執拗な追撃を振り切って、ファイナルゲームのセッティングに競り勝った。準々・決勝での勝敗のポイントであるゲームをともにセッティングで勝ったことによって、一段と自信を深めたことであろう。

**▽準決勝**

池田<br>栂野尾 2

15－6<br>18－16<br>0

尾崎<br>銭谷

飯野<br>土田 2

15－15－8<br>15－13<br>9－15<br>1

小島<br>秋山

**▽決勝**

飯野<br>土田 2

9－15<br>15－11<br>18－15<br>1

池田<br>栂野尾

（飯野・土田組は2連勝）

**◇出場選手の紹介**

氏名 ①生年月日 ②身長 ③出身高校（中学） ④出身大学 ⑤現勤務先 ⑥成績

**秋山真男** ①S18・8・8 ② 167cm ③山梨県・甲府商業 ④中央大学 ⑤秋山紙店 ⑥50年総合S3位、50年社会人S2位

**小島一平** ①S19・10・22 ② 160cm ③神奈川県・緑ヶ丘高 ④中央大学 ⑤ラケットショップ元町 ⑥50年総合S1位、50年社会人S1位、51年実業団S2位

**池田信孝** ①S22・2・3 ② 155cm ③富山県・富山商業高 ④法政大学 ⑤電々東京 ⑥50年総合D2位（P栂野尾）、50年社会人D3位（P尾崎）、51年実業団D2位（P尾崎）

**栂野尾昌一** ①S22・8・19 ② 178cm ③富山県・富山商業高 ④法政大学 ⑤ヨネックススポーツ ⑥50年総合D2位（P池田）、51年実業団D1位（P飯野）、50年社会人D1位（P飯野）

**今井勇司** ①S24・5・6 ② 180cm ③群馬県・前橋商業高 ④日本体育大学 ⑤渋川女子高教員 ⑥教職員D1位（P桐生）

**尾崎幹雄** ①S27・2・22 ② 175cm ③富山県・富山商業高 ④中央大学 ⑤電々東京 ⑥50年社会人D3位（P池田）、実業団D2位（P池田）

**桐生台次郎** ①S27・3・16 ② 173cm ③群馬県・桐生市立商業高 ④日本体育大学 ⑤渋川女子高教員 ⑥教職員D1位（P今井）

**飯野佳孝** ①S28・2・27 ② 175cm ③新潟県・三条商業高 ④日本大学 ⑤ヨネックススポーツ ⑥50年総合D1位（P土田）、51年実業団D1位（P栂野尾）、社会人D2位

**銭谷欽治** ①S28・3・12 ② 180cm ③石川県・大聖寺高 ④中央大学 ⑤河崎ラケット ⑥51年実業団S1位、50年総合S2位、50年社会人S2位

**土田証雄** ①S28・9・9 ② 172cm ③新潟県・三条商業高 ④日本大学 ⑤電々東京 ⑥50年総合D1位（P飯野）、50年インカレS1位

**中井基夫** ①S29・3・2 ② 178cm ③奈良・正強高 ④法政大学4年 ⑥50年インカレD1位（P辻）

**辻 敏弘** ①S30・3・5 ② 173cm ③奈良県・添上高 ④法政大学4年 ⑥50年インカレD1位（P中井）

**西村正美** ①S31・3・28 ② 179cm ③富山県・富山商業高 ④中央大学3年 ⑥50年インカレS3位、51年関東学生D1位（P長谷川）

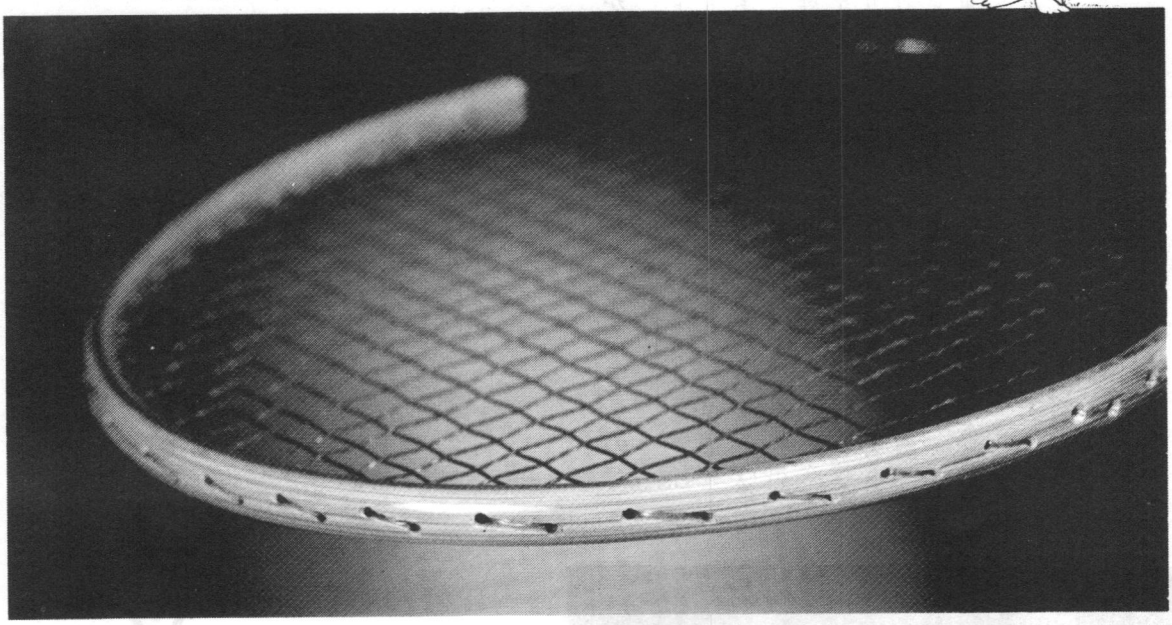
**長谷川博幸** ①S32・1・19 ② 177cm ③福井県・勝山高 ④中央大学2年 ⑥50年インカレS2位、51年関東学生S・D1位（P西村）

**重山成夫** ①S33・6・20 ② 176cm ③石川県・金沢市立医王山中学 ④金沢市立工業高3年 ⑥51年インハイS3位、団体優勝（2連勝）

**坂本昌嗣** ①S34・11・1 ② 172cm ③石川県・七尾市立東部中学 ④金沢市立工業高2年 ⑥51年インハイ団体優勝



# 竹の特性を生かした話題のバンブーラケット!!



竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット〈ハイ・トーマス〉が誕生しました。

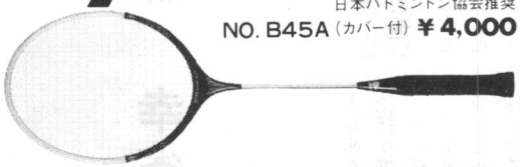
■竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。■薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。■ガット張りによるラケットの変形が起らない。■ソフトグリップが手に良くなじみます。

バドミントンラケット〈ハイ・トーマス〉

## Hy-Thomas

日本バドミントン協会推奨

NO. B45A（カバー付）¥4,000



株式会社ゴーセン

本　　社・大阪市東区豊後町4　TEL.（06）942-5816（代）
東京支店・東京都台東区蔵前4-14-2 TEL.（03）862-6576（代）
福岡営業所・福岡市中央区薬院1-4-8 TEL.（092）712-5247～8

理想のガット〈ウインテックス〉!!

## Wintex

Racket String

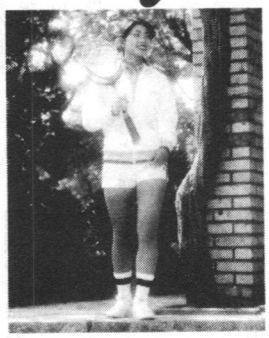
TOURNAMENT GAUGE
1.39mm for TENNIS　0.73mm for BADMINTON




弾力性・耐久性バツグンのステンレススチールワイヤー巻きの高級ガットです。

すばやい動きがいつもフレッシュ!!

## Wintex WEAR



●カタログは、最寄の有名スポーツ用品店又は、(株)コーセン スポーツ用品部迄お問合せ下さい。

# シャトルコックの素顔

大森　幸衛

## 一、まえがき

バドミントン競技の面白さの元は、シャトルコックの持つ特別な性質にある事は間違いない。

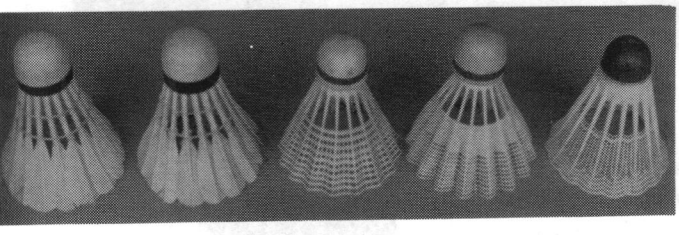
そのシャトルコックが空気中を飛ぶ時の性質についてあまりはっきりしていない。一応均一な商品でありながら、試合前に選手が試し打ちをして選りわけているのを見るにつけ、このスポーツの最重要用品でありながら、製品としての頼り無さを感じる次第である。

そこで現状の色々のシャトルコックを調べてみることにした。

## 二、シャトルコックの空気抵抗

このスポーツはシャトルコックの空気抵抗を大きくして、狭い空間に色々な飛形を作り出すことによって、あまり広くないコート内で、体力一杯の競技を行うことができるわけであるから、最初に空気抵抗値を調べる必要がある。

取敢えず入手できる水鳥羽根の試合球からプラスチックのオモチャ球迄数種のシャトルコックを空気流中に入れてその抵抗を測った。（第1図は測定したシャトルコックの一部）



第1図　色々なシャトルコックの例

### その1　羽根の剛性の大小による空気抵抗の違い

球速が速くて羽根が変形すると空気抵抗が変る。（一般に抵抗が小さくなる）即ち、シャトルコックの羽根の剛性は強い方がよい。一例として、空気抵抗の大きさを表わす係数が球速によってどのように変るか、第2図に示す。水鳥球は速度が変っても殆んど一定で、その値は4.0が標準のようである。プラスチック球は羽根の剛性が弱く球速が速いとつぼまって空気抵抗が小さくなる。（第3図）これはラケットで打った瞬間の速い時は空気抵抗が小さいので正常球より速く飛び、着地近くなると抵抗が増えて普通になってくる。

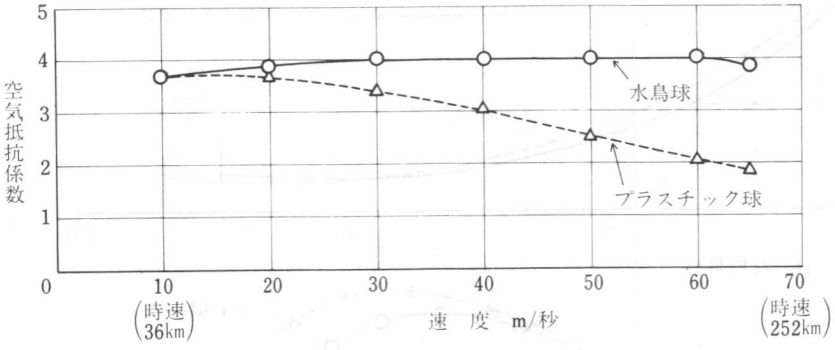
その結果、正常球より距離にして1m程遠くに飛び、又1/3程飛んだ所での球速も約10～15%速いので、眼をごまかされるおそれがある。（第4図）

### その2　羽根の付根のすきまの影響

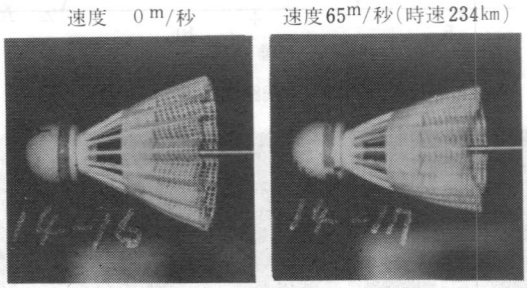
シャトルコックを飛ばしてみると、新しい時には遠くに飛び、少し使いこむと、丁度よくなるような感じの時がある。これをよく調べてみると、羽根を頭部に取りつける際の接着剤が多くつきすぎて、すきまが埋っているものがある。（第5図）

このすきまが埋ってしまうと空気が羽根の内部に入りにくくなり羽根後方の気流がやや不安定になる上、羽根により折角拡がった流れがつぼまりぎみになる。大まかに言えば流線形に近い物体が飛ぶ時の流れに似てきて空気抵抗が小さくなってくる。

ためしに羽根の付根部分を全部おおって内部に空気が入らないようにした時の空気抵抗を測ってみると、第6図のようにかなり減少しているのが分る。くわしく調べるために、空気の流れに細い煙のすじをつけて流れを眼に見えるようにした写真が第7図である。図の上の写真は正常の場合で、羽根の付根から空気が内部に流れこみ、羽根後方の気流はほぼ平行になる。




第2図　羽根の剛性の大小による空気抵抗の違い




第3図　速度による変形の例（プラスチック球）

下の写真は、付根を全部ふさいだもので内部に空気が入らない。この場合、羽根の後方の流れは再び収縮傾向にあり、あたかも流線形に近い物体が飛ぶ有様に似てきて、直観的にも空気抵抗が減るのがわかる。

第5図のような接着剤が余分についたシャトルコックは、始め第7図の下の写真に近く、使っている内に衝撃で適当にこわれて内部に空気が入りやすくなり、第7図の上の写真のようになって、空気抵抗が増え正常になってくると考えられるので、製作時にはよく注意して最初から正規の性能を発揮できる製品を作る必要がある。

### その3　羽根の折損による空気抵抗の変化

試合中に羽根が折れることがよくある。第8図のように折れた羽根のシャトルコックの空気抵抗がどのように変るか実験した結果が第9図である。

折れた羽根数が多いと、空気抵抗は減少するが外見から感じる程大きくは減少しない。即ち、あまり神経質にならなくてもよいようである。

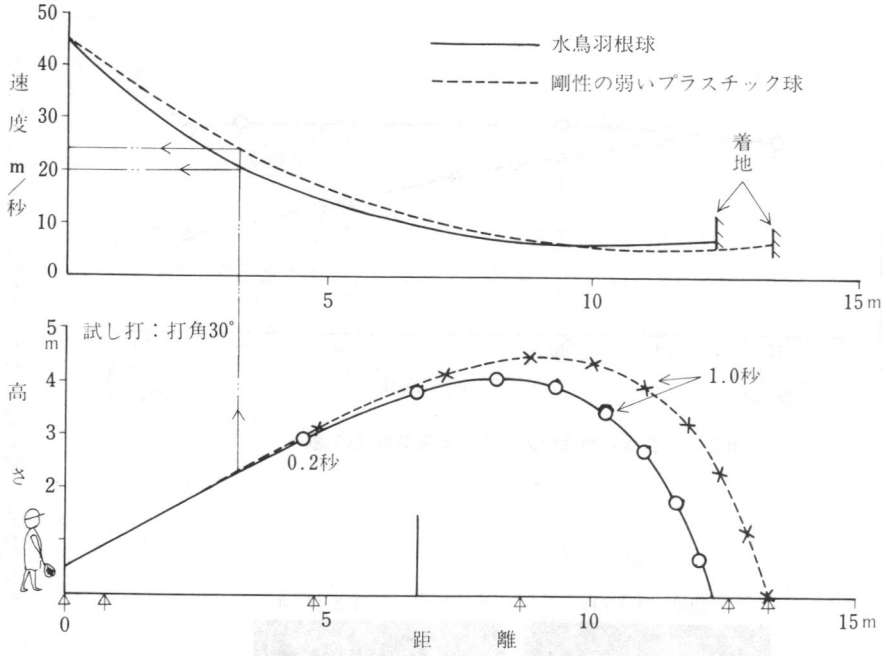
唯中心軸に対して対称でなくなることによるふらつき運動が起りやすくなる点が問題であろう。

### その4　羽根のひろがり（つぼまり）と空気抵抗

羽根が拡がれば空気抵抗が大きく、つぼまれば抵抗は小さくなる。その大きさはひろがった羽根の後面の面積にほぼ比例する。練習中に羽根を外や内に折り曲げて調節することもある。外に折り曲げて拡げた場合の空気抵抗の増大の一例が第10図である。

何もしなくとも、同じような効果が起ることがある。第11図の上の写真のように、シャトルコックが回転することにより、遠心力で羽根が拡がることがある。この回転は球速が速い程よく回転するので、打った瞬間のように速度の速い時に拡がって空気抵抗を大きくし、減速と共に回転も落ち空気抵抗は正常にもどる。（その5参照）

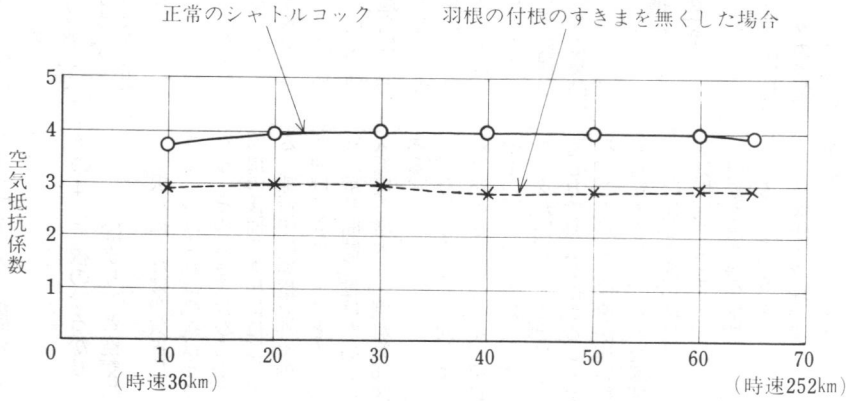
プラスチック球の場合は回転が起りにくいが、剛性不足の例が多く第11図の下の写真のように、速度の速い時はつぼまって空気抵抗が小さく、全体として少し遠くに飛ぶ。（その1参照）



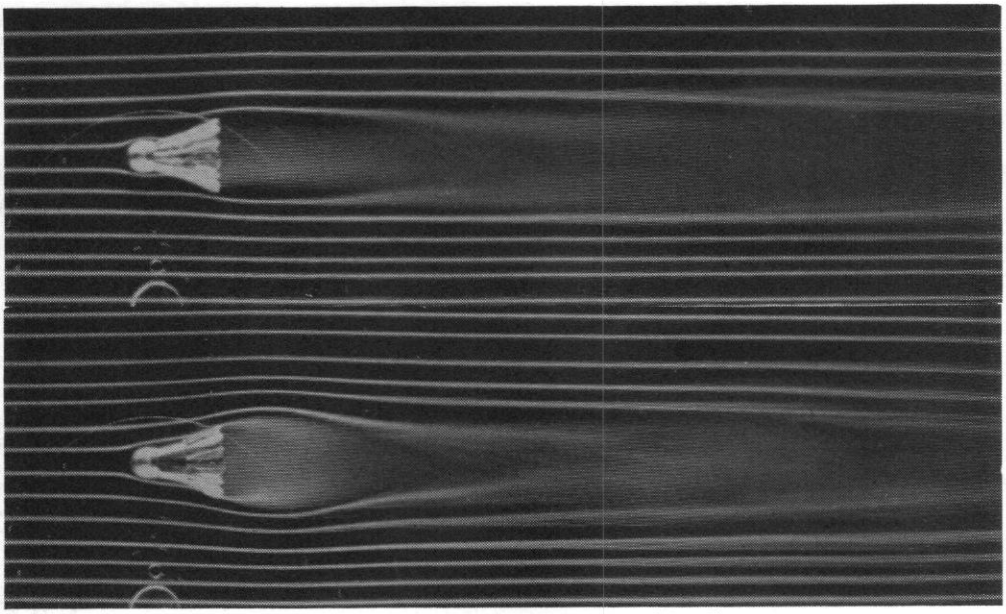

第 4 図　羽根の剛性の大小による飛距離と速度の変化



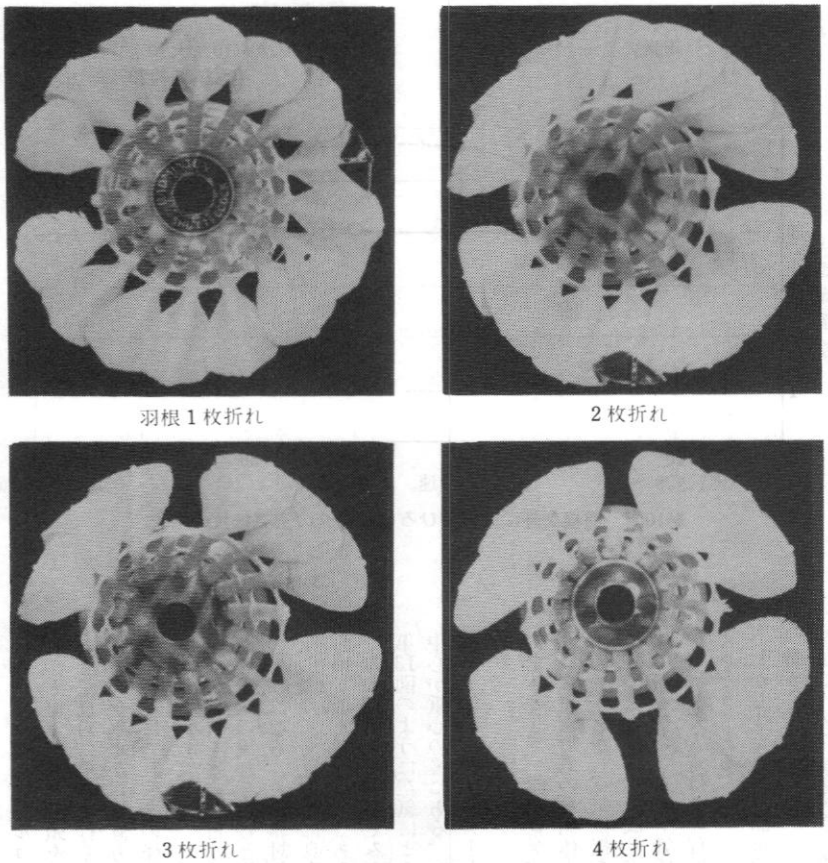
第 5 図　羽根の付根に接着剤が多く付きすぎている例




第 6 図　羽根の付根のすきまが無い時の空気抵抗の減少




第7図　羽根の付根のすきまの有無による流れの違い




第8図　羽根の折れたシャトルコック

### その5　羽根の回転

シャトルコックの羽根は少しずつ重なりあっているので、進行方向に直角に回転しやすい性質がある。（第13図の右図参照）

回転する際は速度が速ければ速い程回転数は大きいが、回転が速くなる迄に0.2秒や0.3秒程かかる上、シャトルコックの減速は非常に大きいので、着地頃は回転も減衰されて思った程回転しないのが普通である。

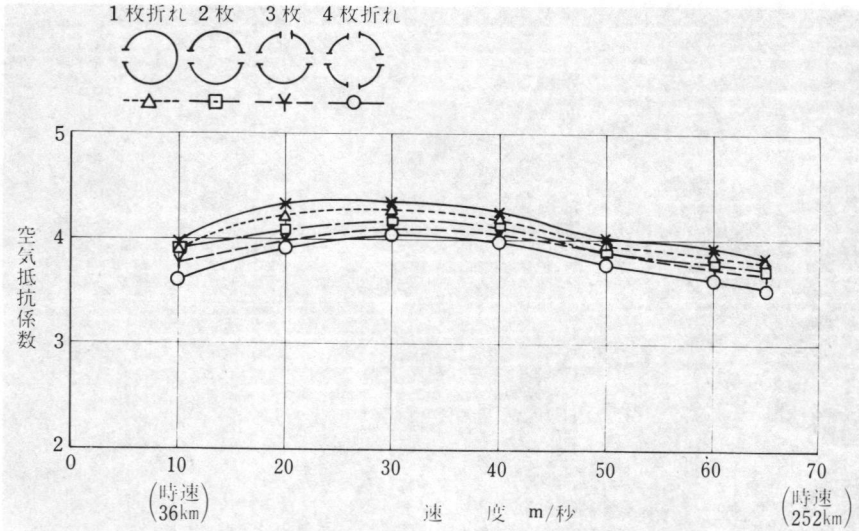
一方この回転はあまり悪さを

しないのが普通で、ひどく大きな回転の時は羽根が拡がって空気抵抗が増し、飛距離が短かくなる傾向があるが、逆にシャトルコックの出来の不均一性をこの回転により、均一化する利点もある。

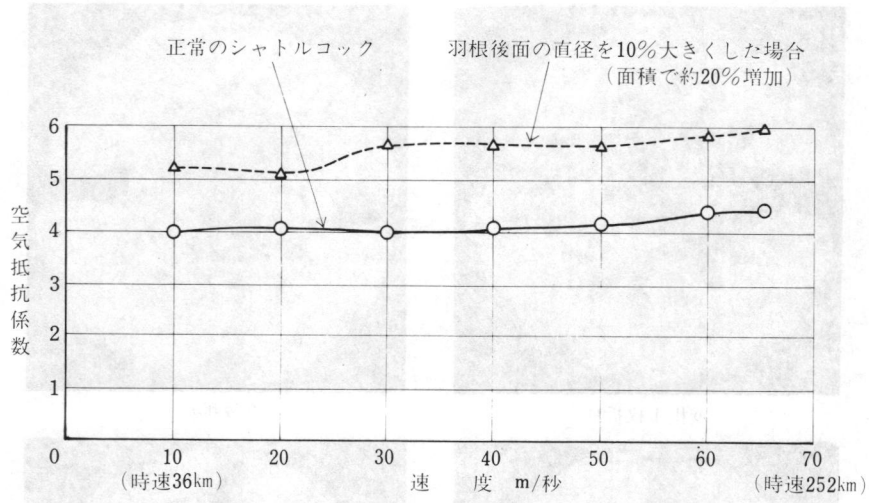
但し、姿勢が傾いたまま回転して飛ぶ時は、二次的な力が発生して、径路が変るおそれがあるが程度は弱い。

一般には視覚的にも、回転しない方が望ましいので、羽根の重なり等について深い配慮が必要である。同じ速度で飛んでいてもその回転数は千差万別で、多量生産の製品とは思えない有様が実情である。

尚プラスチック製のシャトルコックは羽根の重なりもなく、回転を起す元がないが多少の非対称等のためか、回転することがある。しかし毎秒数回転程度で実害はない。




第9図　羽根の折れたシャトルコックの空気抵抗




第10図　羽根を外に曲げてひろげた場合の空気抵抗の増大

## その6　飛行姿勢の安定度

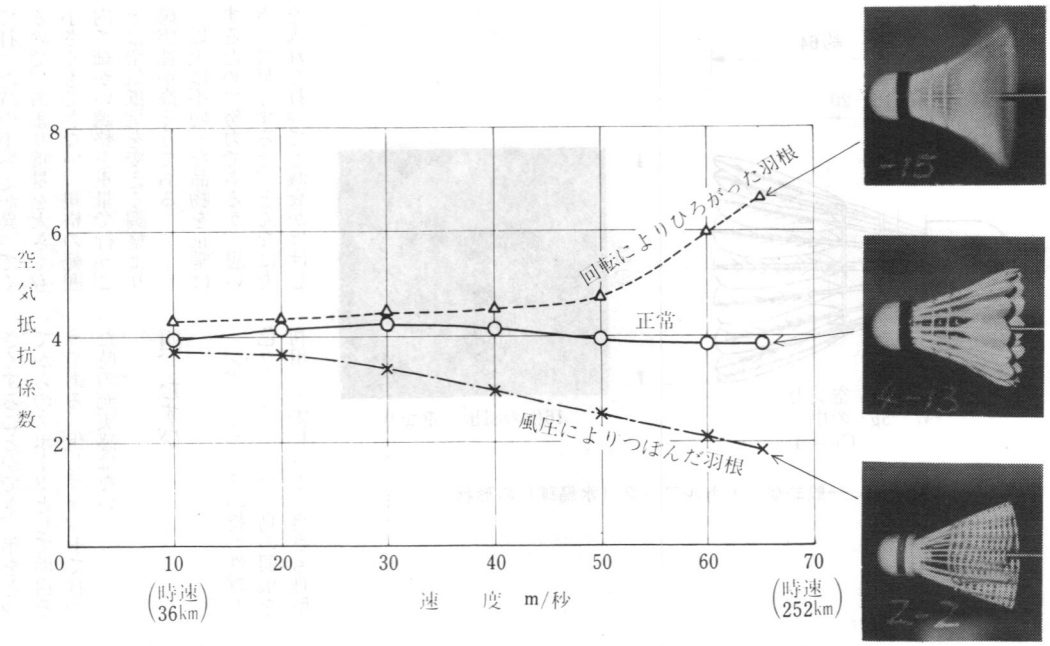
向ってくるシャトルコックを打つと直ぐくるりと頭を180度まわして反対に飛んで行く。又進行方向が水平から垂直方向に変って行くにつれ、その径路に忠実に頭を向けてゆく。

この性質を安定と言う。その時の空気の流れを見ると第12図のようになる。この非対称の風圧によって進行方向に真直ぐにむいて飛んで行くのである。

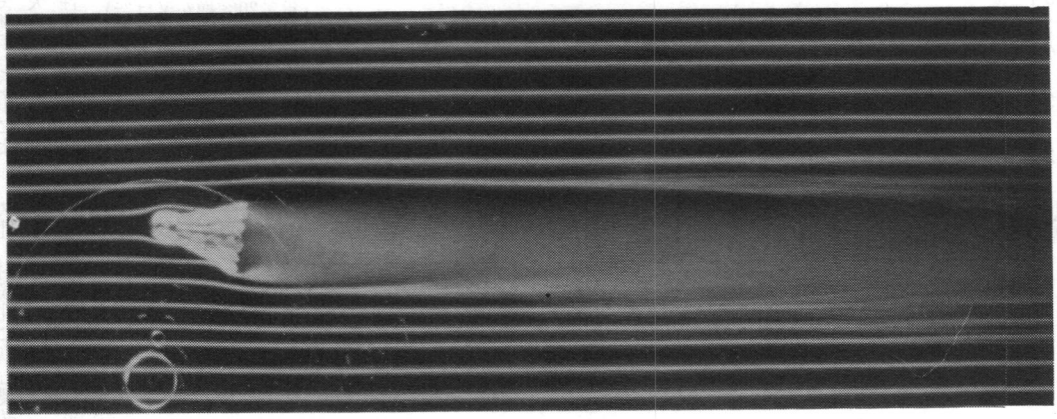
力の作用点を調べてみると、第13図のように空気による力の中心が重心の後にある。この距離は大体15～20ミリメートルである。

全体として一般のロケットのような尾翼形式の飛翔体より大分悪い。しかし空気抵抗を大きくすることによって成り立つ競技であるから、先ず空気抵抗を第一にして安定はこの程度でもよさそうである。

しかし少くとも、品質の不均一等からくるふらつきのような動的な不安定は極力さけなければいけない。




第11図　羽根のひろがり（つぼまり）による空気抵抗の変化



第12図　進行方向に対して傾いている時の空気の流れ

## 三、シャトルコックの重量と空気抵抗との関係

シャトルコックの寸法は、かなり巾があるようであるが、第13図は測った一例である。重量は5グラム、空気抵抗係数は4.0（頭部の断面積基準）が普通のようである。

この重量と空気抵抗係数との比が同じならば、同じ飛び方をする。飛ばないシャトルコックを遠くに飛ばさせるには、重量（W）を増やしてもよく、空気抵抗係数（$C_D$）を減らしてもよい。$\frac{W}{C_D}=K$ として、例えばこの比の値を20%増減した時の飛形を第14図に示す。

試し打ちの際の飛距離、飛行時間の増減を、Kの増減によってどの位変るかグラフにしたものが第15図である。

実際問題として、空気抵抗の増減は羽根を拡げたり、つぼめたりする訳であるから細かい調整がやりにくい。その点、重量の調節はやりやすい。直径3ミリ程度の木ネジを一本加えるとK値にして約20%の増大となる。

飛びすぎるシャトルコックの調整用に重量を減らすことのできる構造を始めから作っておくと非常に便利であろう。

但しこの重量の増減は、空気

抵抗の増減と異なり、ラケットで打った時の手答えが異ってくるので、あまり重量を大きくも小さくもできない。規格の範囲内で細かい調整を重量で行うことは空気抵抗を変える調整より確実性が高そうである。

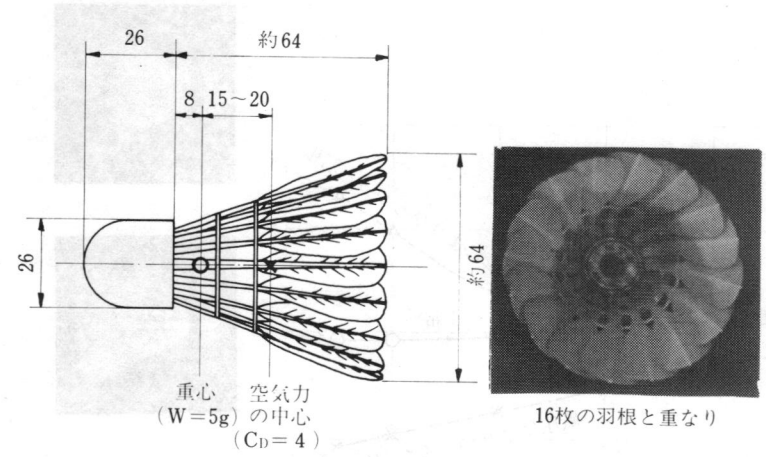
以上は不均一な品物を正常にするための努力であるが、思いきって軽くすると、どんなに力を入れて打っても減衰がはげしくて飛ばないので、コートを小さくすることができ、年をとってからのスポーツとして面白そうである。但しラケットで打った時の充実感はない。

## 四、むすび

シャトルコックの持つ性質が色々と分ってきた。鳥の羽根を利用した素朴さと、良さも理解できたが、何としても自然界の生物をそのまま利用した事による不均一性が欠点となる。

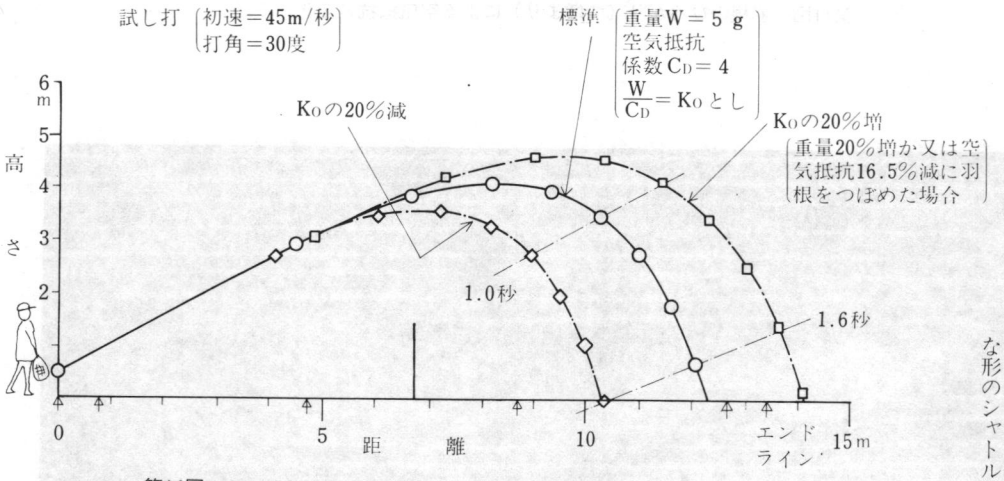
試合中でも性能変化する場合が多いだけに、品質が均一で耐久性、耐候性に富む製品が望まれる。

全体として、この彗星のような形のシャトルコックがこのスポーツの根元であり、例えば色色な競技の「サーブ」一つについて考えてみても、最も力を抜いた「ショートサーブ」が大きな偉力を発揮する球技はバドミントンぐらいなもので、この特徴ある性質を体力一杯に駆使して、美しく躍動するスポーツにみがきあげてもらいたいものです。

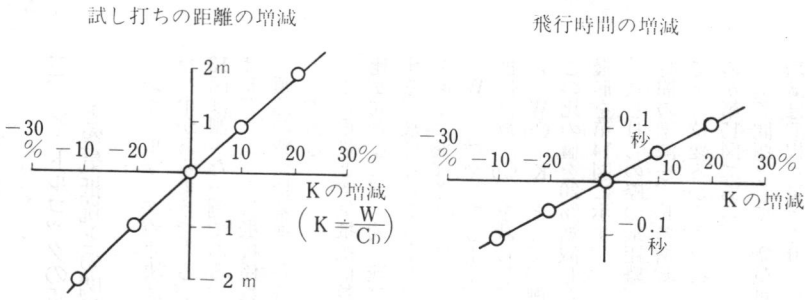



16枚の羽根と重なり

第13図　一般的なシャトルコック（水鳥球）の形状




第14図　シャトルコックの重量と空気抵抗の比Kを20%増減した時の飛形




第15図　重量と空気抵抗の比Kの増減による影響

# 第27回五大都市体育大会

第二十七回五大都市体育大会バドミントンの部が、七月十七日、十八日の両日にわたって横浜市に於いて開催されました。

名古屋市、京都市、大阪市、神戸市から遠路はるばる訪れて来た選手と、地元横浜の精鋭による猛暑の中での闘いは、より熱戦に拍車をかけたようでありました。

## 男子

| | 勝敗 | 順位 |
|---|---|---|
| 横浜 | 4勝0敗 | ① |
| 大阪 | 3勝1敗 | ② |
| 京都 | 2勝2敗 | ③ |
| 名古屋 | 1勝3敗 | ④ |
| 神戸 | 0勝4敗 | ⑤ |

## 女子

| | 勝敗 | 順位 |
|---|---|---|
| 横浜 | 4勝0敗 | ① |
| 京都 | 3勝1敗 | ② |
| 名古屋 | 2勝2敗 | ③ |
| 大阪 | 1勝3敗 | ④ |
| 神戸 | 0勝4敗 | ⑤ |

| | S3 | S2 | S1 | D2 | D1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名古屋 | 加藤 | MC平松（中橋） | 八神 | 中橋 平松 | 菱田 加藤 | |
| | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| | 15 15 | 15 18 | 15 15 | 15 15 13 | 15 12 15 | SD 3 2 |
| | 10 7 | 3 16 | 0 6 | 11 8 15 | 11 15 2 | 0 0 |
| | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 神戸 | 今井 | 加治 | 児島 | 加豚 治座 | 大土 竹井 | |

| | S3 | S2 | S1 | D2 | D1 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 神戸 | 加治 | 豚座 | 児島 | 加豚 治座 | 大土 竹井 | |
| | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 |
| | 8 5 | 7 4 | 15 15 6 | 15 17 | 13 11 | SD 1 1 |
| | 15 15 | 15 15 | 9 8 15 | 7 16 | 15 15 | 2 1 |
| | 2 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 |
| 京都 | 永井 | 前田 | 松永 | 河野 高橋 | 三矢 前田 | |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 渡辺 | MC鎌田（小島） | 杉田 | 鎌田木 | 宮川島 | 横浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 15 15 \| \| 1 8 | 15 15 \| \| 2 7 | 15 15 \| \| 1 2 | 17 15 5 \| \| \| 14 9 15 | 15 15 \| \| 4 9 | S D 3 2 \| \| 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 前田 | 三矢 | 松永 | 高河野 | 前三田矢 | 京都 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 渡辺 | 鎌田 | 杉田 | 鎌田木 | 宮川島 | 横浜 |
| 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| 18 15 \| \| 14 3 | 11 10 \| \| 15 15 | 15 15 \| \| 5 1 | 15 15 \| \| 12 10 | 15 15 \| \| 8 5 | S D 2 2 \| \| 1 0 |
| 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 山下 | 宮本 | 小野 | 岩山田下 | 和鷲田尾 | 大阪 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 鷲尾 | 宮本 | 小野 | 山岩下田 | 和鷲田尾 | 大阪 |
| 2 | 1 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| 15 15 \| \| 7 4 | キ 18 12 ケ \| \| ン 15 15 | 9 12 \| \| 15 15 | 15 15 \| \| 10 2 | 15 15 \| \| 12 5 | S D 1 2 \| \| 2 0 |
| 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 加藤 | 平松 | 八神 | 中平橋松 | 菱加田藤 | 名古屋 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC岩田（鷲尾） | 宮本 | 小野 | 山岩下田 | 和鷲田尾 | 大阪 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 15 15 \| \| 11 11 | 15 17 \| \| 2 14 | 15 15 9 \| \| \| 7 13 15 | 15 15 \| \| 10 4 | 15 15 \| \| 8 6 | S D 3 2 \| \| 0 0 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| MC今井（豚座） | 加治 | 児島 | 加豚治座 | 大土竹井 | 神戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 宮本 | 和田 | 小野 | 岩山田下 | 和鷲田尾 | 大阪 |
| 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 3 |
| 11 18 5 \| \| \| 15 15 15 | 15 15 \| \| 5 8 | 9 7 \| \| 15 15 | 15 15 \| \| 8 5 | 15 15 \| \| 1 5 | S D 1 2 \| \| 2 0 |
| 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| 三矢 | 河野 | 松永 | 永三井矢 | 高河橋野 | 京都 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC小島（鈴木） | 渡辺 | 杉田 | 鎌田木 | 宮川島 | 横浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 15 15 \| \| 3 4 | 15 15 \| \| 5 13 | 15 15 \| \| 7 9 | 15 15 \| \| 1 13 | 15 15 \| \| 2 11 | S D 3 2 \| \| 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 山本 | 平松 | 八神 | 中山橋本 | 菱加田藤 | 名古屋 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 小 | 渡 | 杉 | 宮小 | 鎌鈴 | 横 |
| 島 | 辺 | 田 | 川島 | 田木 | 浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 15 15<br>\| \|<br>9 5 | 15 15<br>\| \|<br>0 7 | 15 15<br>\| \|<br>4 7 | 15 15<br>\| \|<br>2 13 | 1515 5<br>\| \| \|<br>5 8 15 | S D<br>3 2<br>\| \|<br>0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 加 | 豚 | 児 | 加豚 | 大土 | 神 |
| 治 | 座 | 島 | 治座 | 竹井 | 戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 前 | 三 | 松 | 永高 | 三前 | 京 |
| 田 | 矢 | 永 | 井橋 | 矢田 | 都 |
| 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| 15 15<br>\| \|<br>7 3 | 1 3<br>\| \|<br>15 15 | 151215<br>\| \| \|<br>81510 | 151415<br>\| \| \|<br>3179 | 18 4 15<br>\| \| \|<br>17158 | S D<br>2 2<br>\| \|<br>1 0 |
| 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 加 | 平 | 八 | 山平 | 菱加 | 名古屋 |
| 藤 | 松 | 神 | 本松 | 田藤 | |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC（渡辺） | 西山 | 平松 | 横渡井部 | 渡西辺山 | 名古屋 |
| 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | 3 |
| 61012<br>\| \| \|<br>111211 | 11 11<br>\| \|<br>6 8 | 11 11<br>\| \|<br>0 1 | 9 10<br>\| \|<br>15 15 | 151513<br>\| \| \|<br>11 3 15 | S D<br>2 1<br>\| \|<br>1 1 |
| 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 |
| 原 | 野一色 | 末広 | 竹原下 | 中野一山色 | 神戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 平 | 西 | 渡 | 渡西 | 横渡 | 名古屋 |
| 松 | 山 | 辺 | 辺山 | 井部 | |
| 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 |
| 11 9 12<br>\| \| \|<br>8 12 11 | 11 12<br>\| \|<br>7 11 | 5 11 8<br>\| \| \|<br>11 8 11 | 1515 2<br>\| \| \|<br>8 9 15 | 7 15 1<br>\| \| \|<br>15 12 15 | S D<br>2 1<br>\| \|<br>1 1 |
| 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 2 |
| 森 | 田野所 | 野村 | 野村 | 五十嵐 | 山田口所 | 大阪 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC岩崎（天野） | 宮本 | 金子 | 味杉蓼田 | 岩宮崎本 | 横浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 11 11<br>\| \|<br>1 8 | 11 11<br>\| \|<br>1 1 | 11 11<br>\| \|<br>3 1 | 15 15<br>\| \|<br>3 0 | 15 15<br>\| \|<br>4 3 | S D<br>3 2<br>\| \|<br>0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| MC野一色（原） | 宮野 | 末広 | 竹原下 | 中野一山色 | 神戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩崎 | MC天野（宮本） | 金子 | 味杉蓼田 | 岩宮崎本 | 横浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 11 11<br>\| \|<br>1 2 | 11 11<br>\| \|<br>1 3 | 11 11<br>\| \|<br>2 2 | 15 15<br>\| \|<br>3 1 | 15 15<br>\| \|<br>5 7 | S D<br>3 2<br>\| \|<br>0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| MC五十嵐（野村） | MC吉田（田所） | 森 | 五十嵐野村 | 山田口所 | 大阪 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC石原（岡崎） | 井上 | 竹中 | 岡松崎岡 | 西井條上 | 京都 |
| 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 3 |
| 4 1 / 11 11 | 11 11 / 3 2 | 11 12 / 0 9 | 11 11 5 10 / 15 4 15 | 15 15 / 5 8 | S D 2 1 / 1 1 |
| 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 渡辺 | 西山 | 平松 | 渡西辺山 | 横渡井部 | 名古屋 |

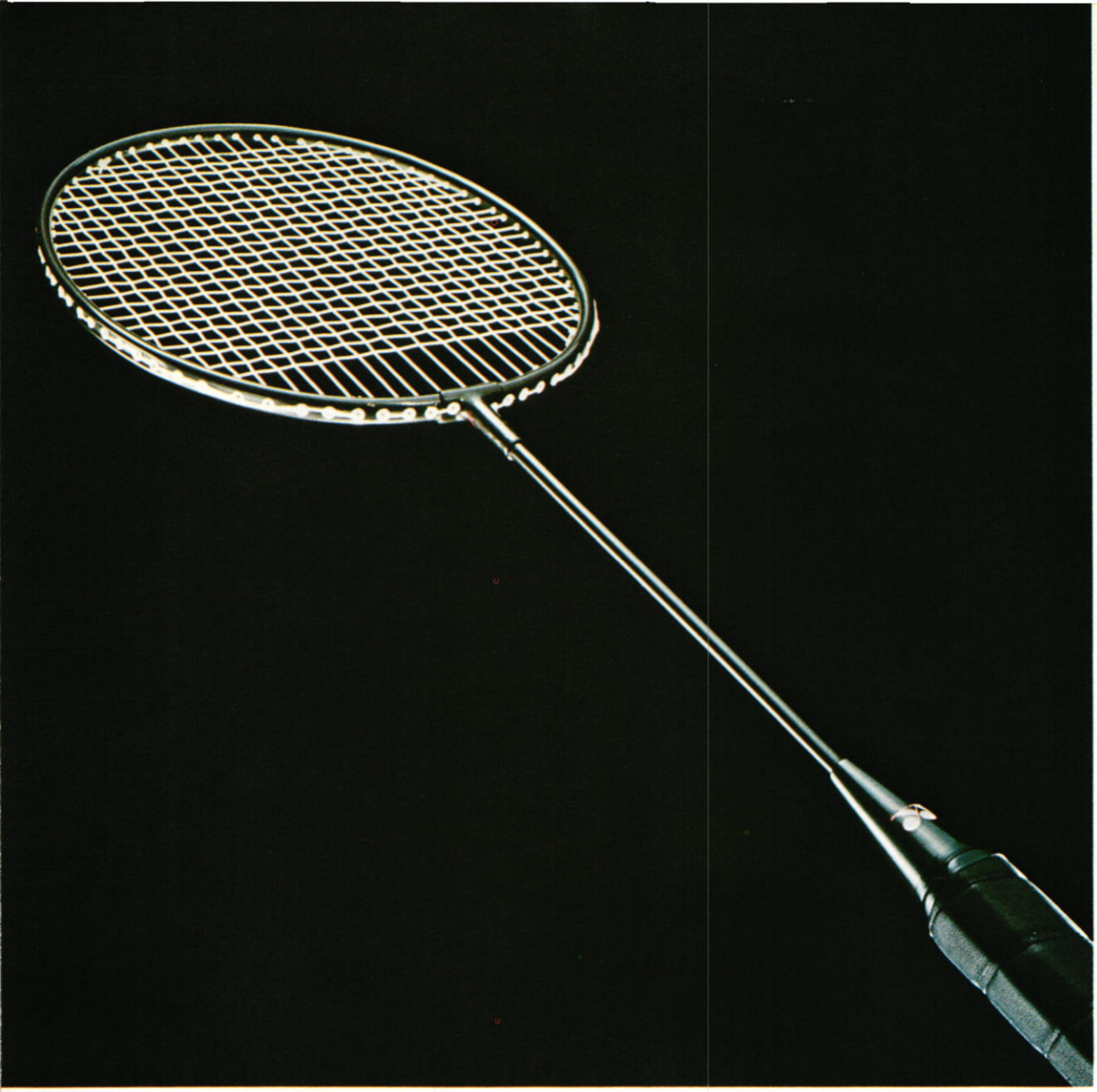
| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩崎 | 宮本 | 金子 | 味杉蓼田 | 岩宮崎本 | 横浜 |
| 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 3 |
| 11 11 / 3 2 | 6 0 / 11 11 | 11 11 / 4 2 | 15 15 / 0 1 | 9 8 / 15 15 | S D 2 1 / 1 1 |
| 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 岡崎 | 井上 | 竹中 | 西松條岡 | 岡井崎上 | 京都 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC石原（岡崎） | 井上 | 竹中 | 石西原條 | 岡井崎上 | 京都 |
| 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 3 |
| 3 5 / 11 11 | 11 11 / 0 3 | 11 11 / 0 2 | 0 7 / 15 15 | 15 15 / 12 7 | S D 2 1 / 1 1 |
| 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 野一色 | 原 | 末広 | 竹原下 | 中野一山色 | 神戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC西條（岡崎） | MC石原（井上） | 竹中 | 西井條上 | 松岡崎 | 京都 |
| 0 | 0 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| 3 2 / 11 11 | 0 0 / 11 11 | 11 11 / 2 5 | 18 15 12 / 17 14 15 | 15 10 15 / 12 15 9 | S D 1 2 / 2 0 |
| 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 田所 | 野村 | 森 | 五十嵐野村 | 山田口所 | 大阪 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| MC吉田（野村） | 田所 | 森 | 野五十嵐村 | 山田口所 | 大阪 |
| 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 |
| 3 9 / 11 11 | 11 11 / 5 5 | 11 11 / 2 6 | 15 15 / 4 11 | 15 15 / 6 5 | S D 2 2 / 1 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 野一色 | 原 | 末広 | 中野一山色 | 竹原下 | 神戸 |

| $S_3$ | $S_2$ | $S_1$ | $D_2$ | $D_1$ | |
|---|---|---|---|---|---|
| 岩崎 | MC天野（宮本） | 金子 | 岩宮崎本 | 味杉蓼田 | 横浜 |
| 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 5 |
| 11 11 / 6 1 | 12 11 / 9 3 | 11 11 / 2 2 | 15 15 / 6 5 | 15 15 / 0 3 | S D 3 2 / 0 0 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| MC角（横井） | MC渡辺（西山） | 平松 | 渡西辺山 | 横渡井部 | 名古屋 |



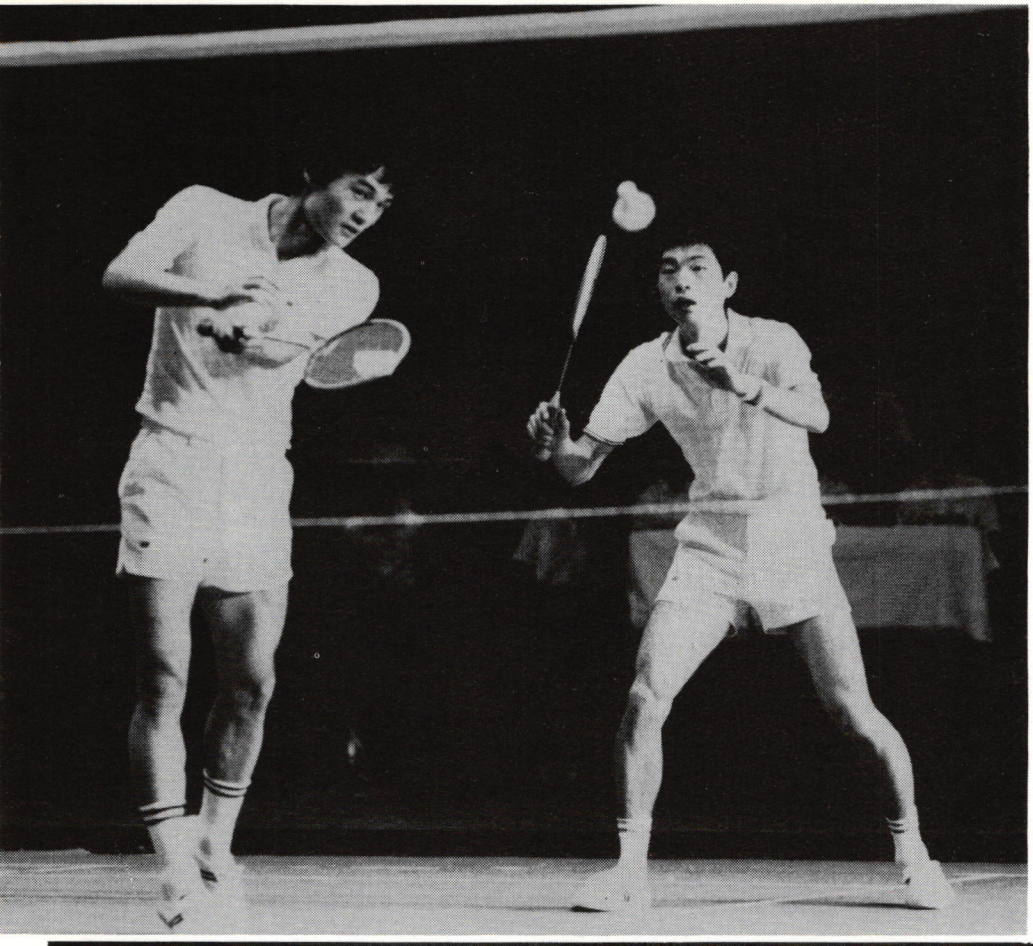
# 時速270kmのスマッシュ!

まっ黒いラケットから、まっ白いシャトルコックが時速270kmのスピードで、相手コートにたたきつけられる。目にもとまらぬスマッシュ。今や噂のラケット、ブラッキー。その秘密はヨネックスが初めて可能にした、極細の特殊ステンレスシャフト。ぐんと細身で、普通より長目ですから、まるでムチのように打つ瞬間鋭利にしなります。息をのむ反発力です。そのうえ、特殊合金フレームの強さがプラスされ、切れ味のよい攻撃力。あそこで、ここで、ブラックパワーと恐れられています。

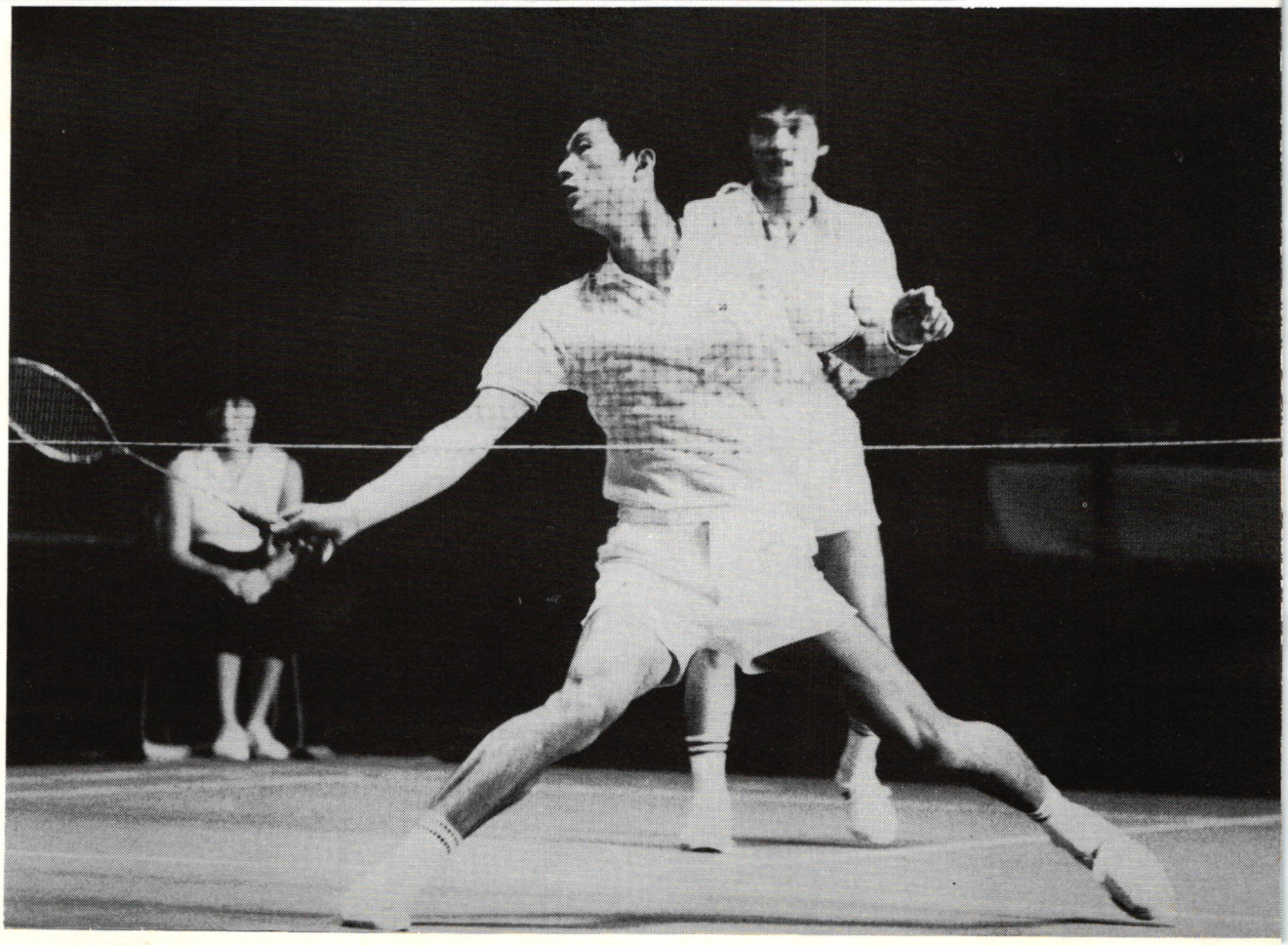
## No.8100 BLACKEN

● No. 8100ブラッキー……￥5,500

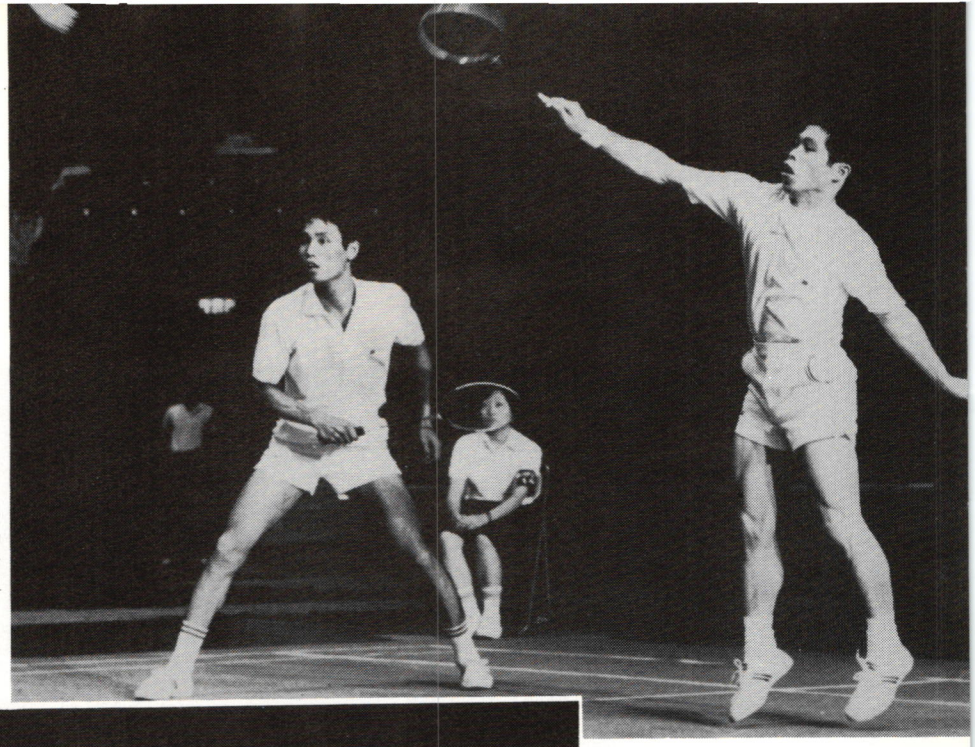
YONEX



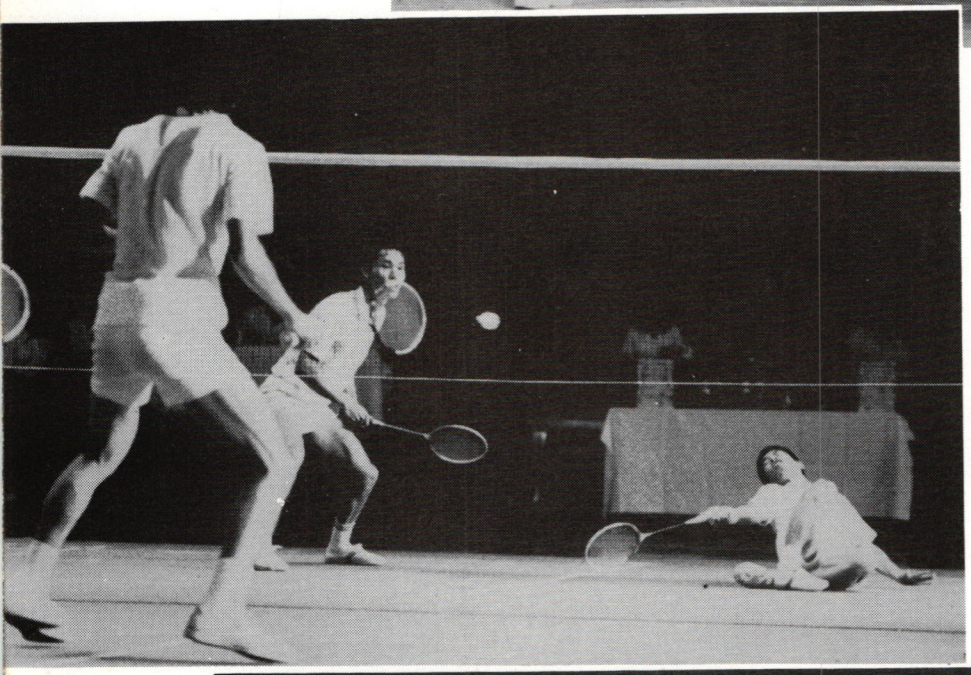
新しいダブルスの王者にも貫禄がついてきた



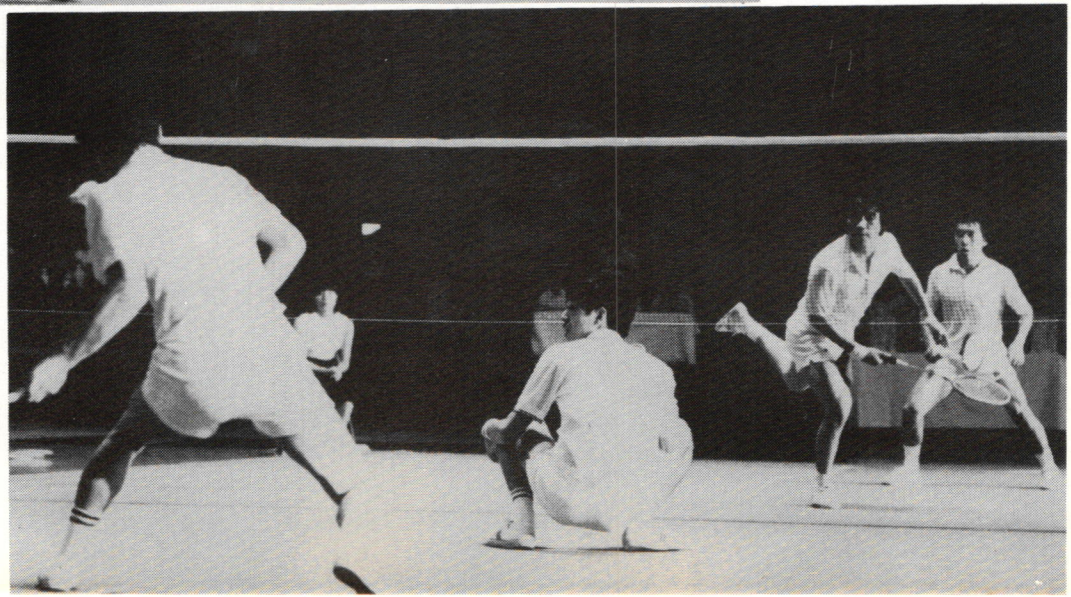
落ち着いたプレーの飯野・土田



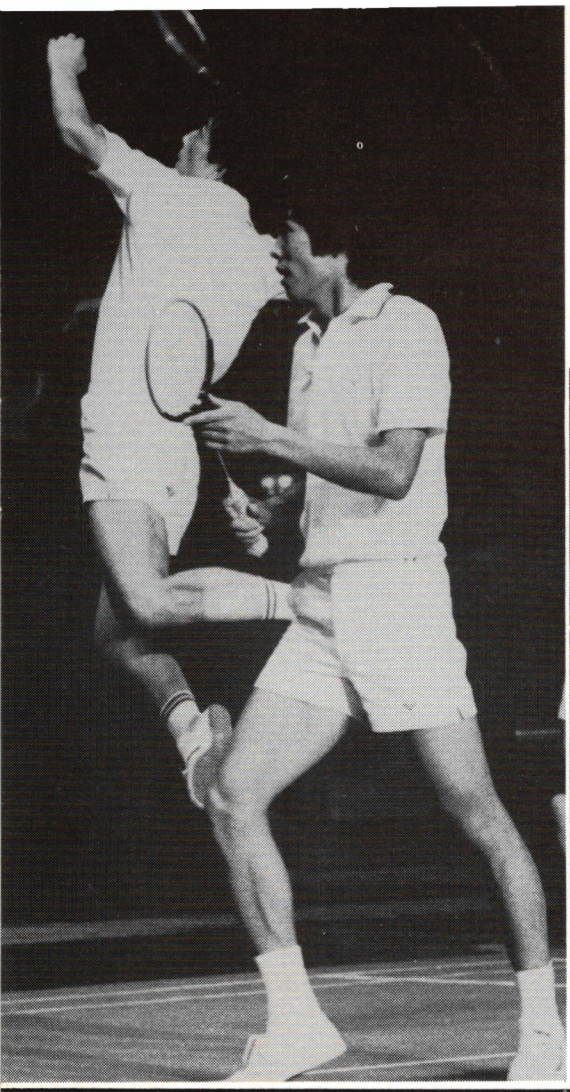
「ナンタこんなスマッシュ」

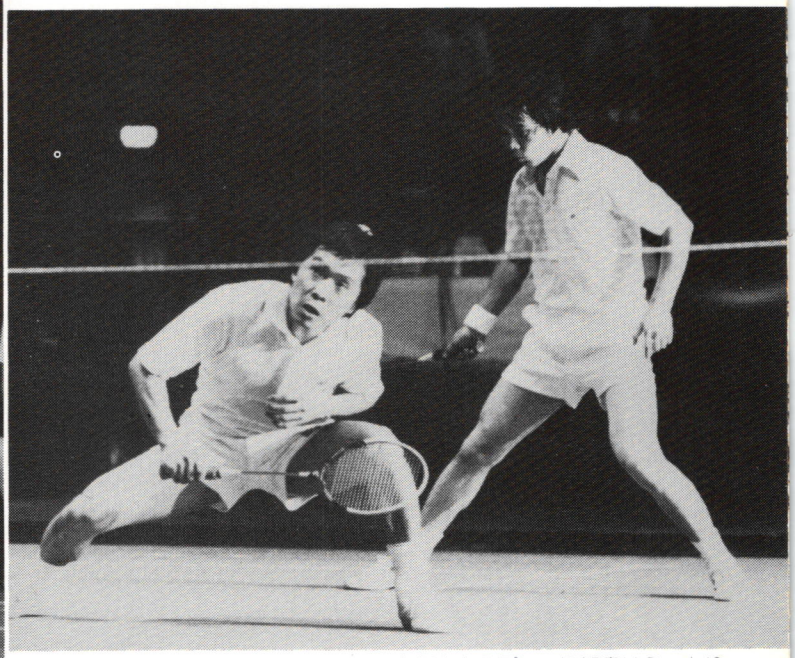


池田選手得意の回転レシーブ



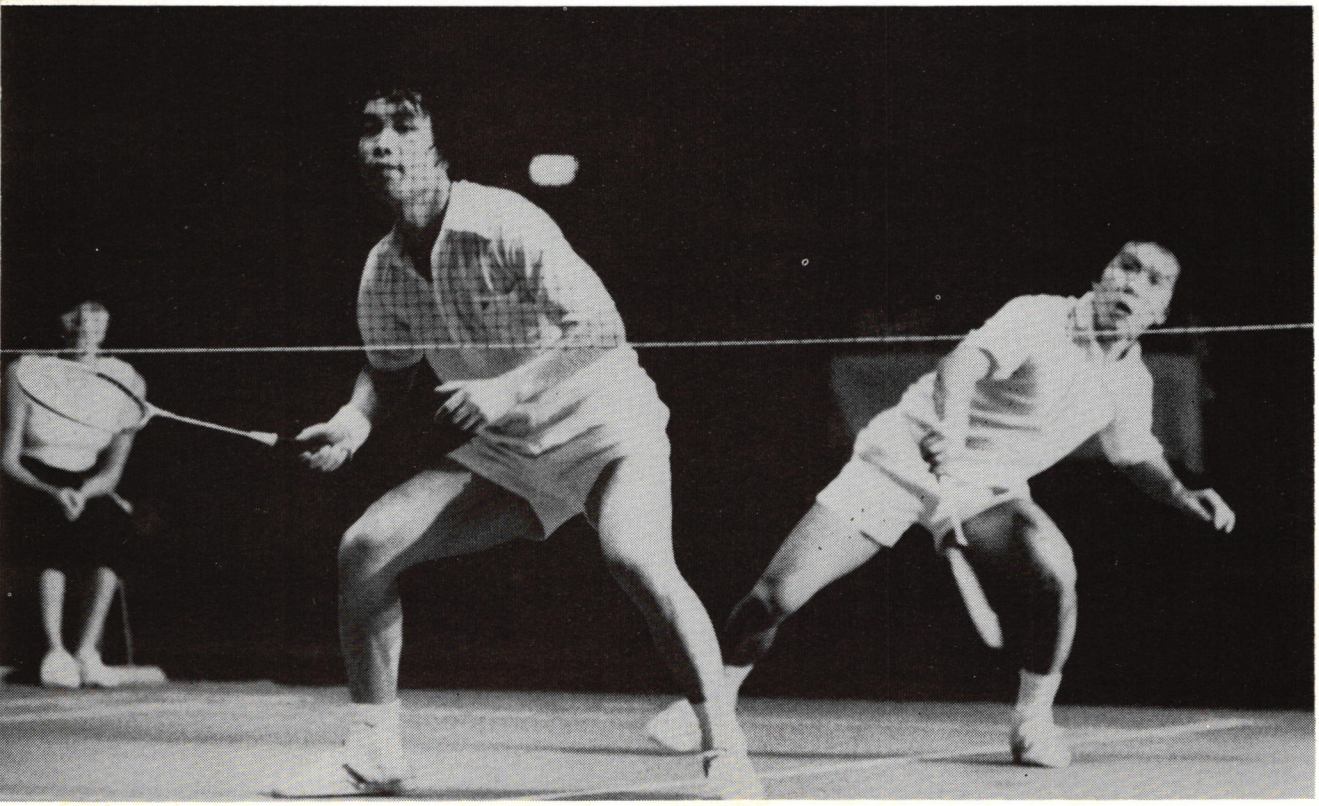
「どうだ」若い者にはまだ敗けないぞと言わんばかりの秋山選手のラッシング



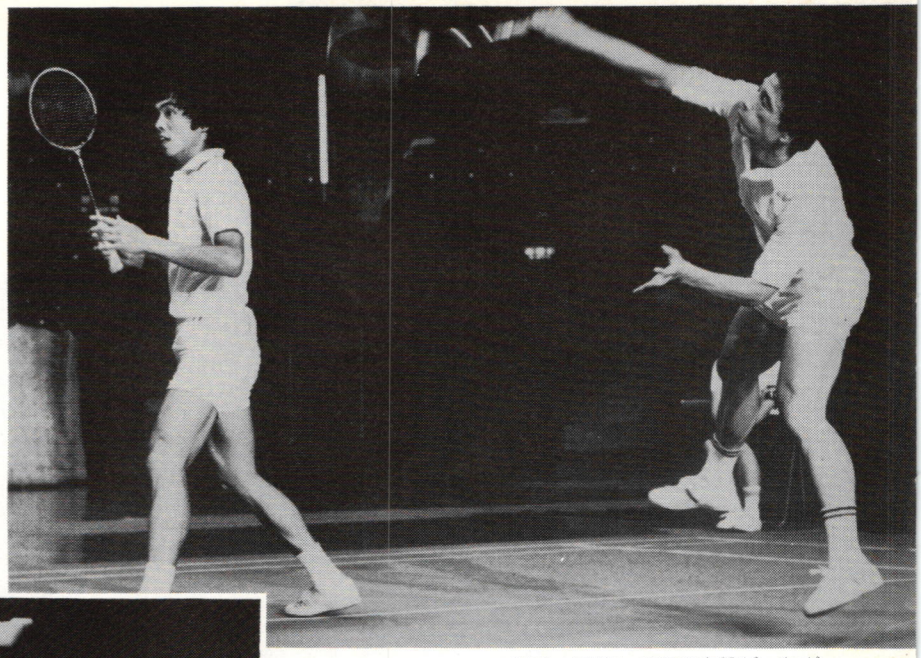


変幻自在のプレーに観衆はうっとり

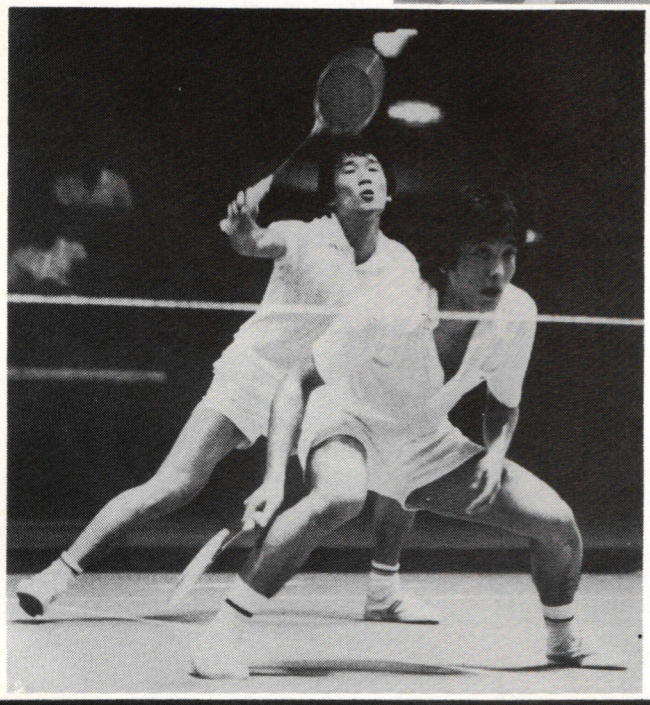
◀「これでもか」尾崎選手のジャンプスマッシュ



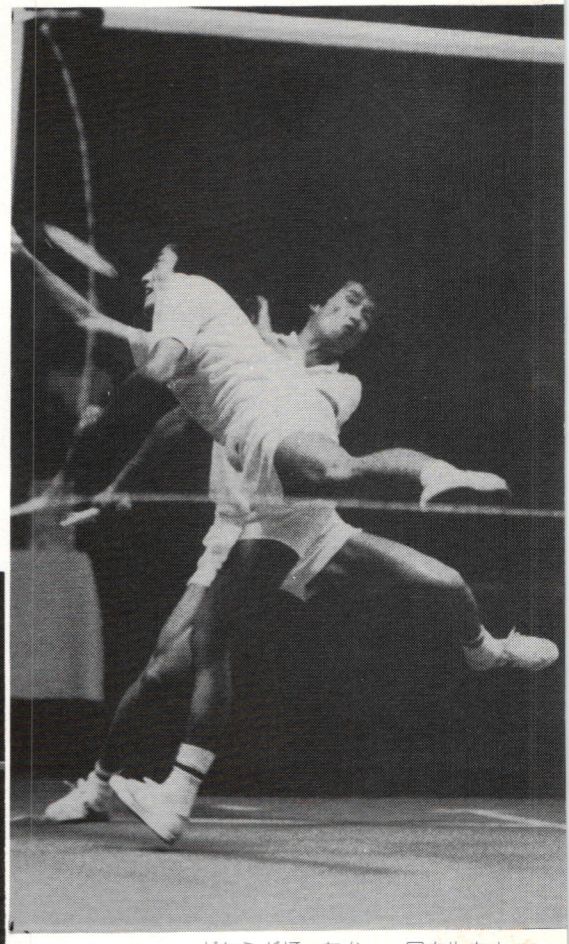
“あわや”のシーンを作ったのだが



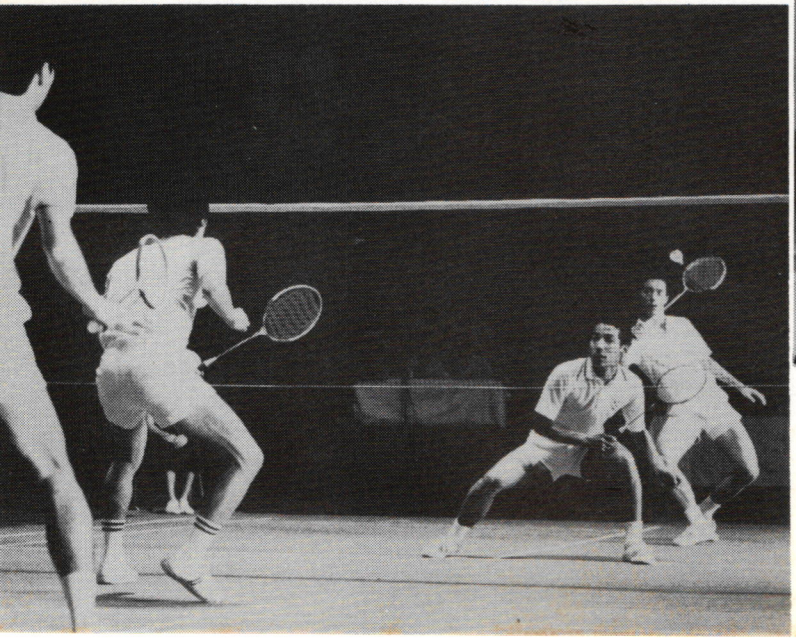
銭谷・尾崎も必死の攻撃だったが……」



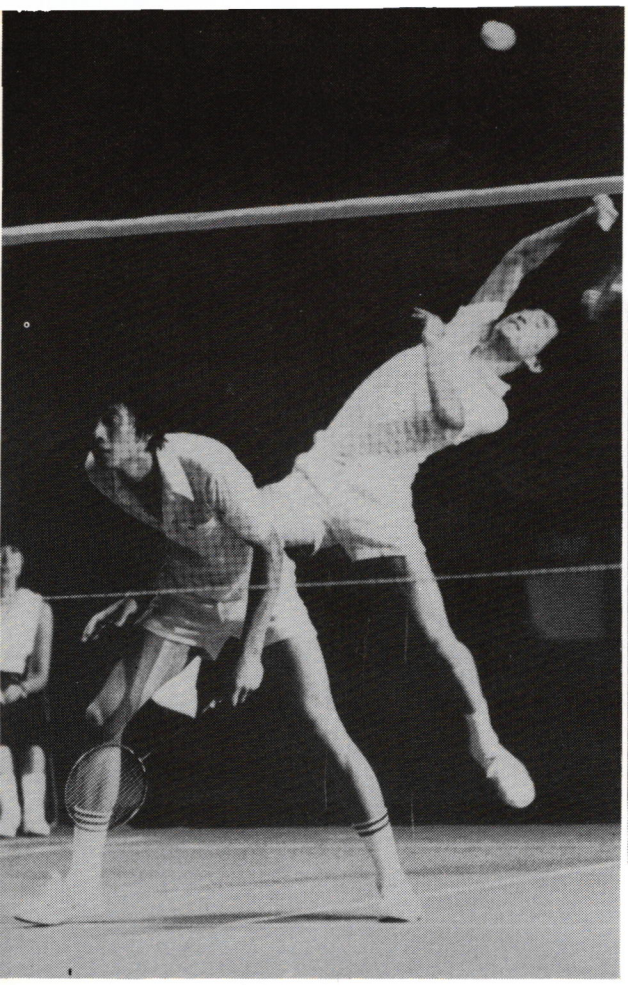
大学チャンピオンの面目にかけても……中井・辻



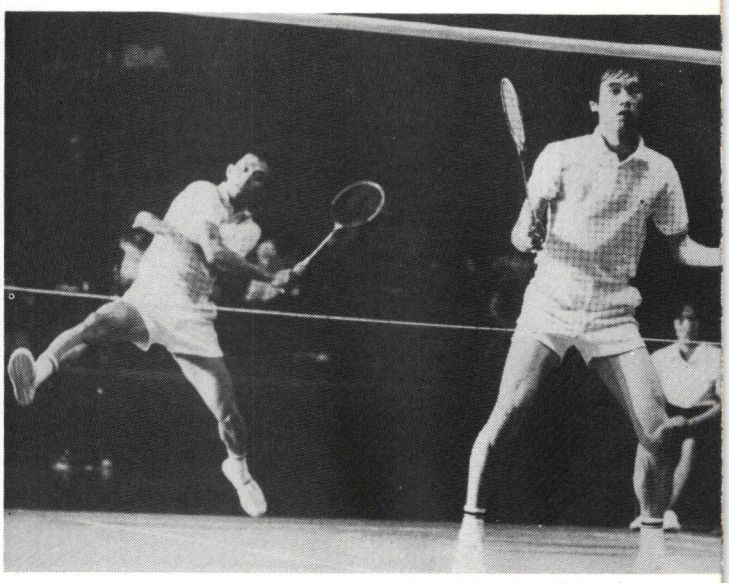
どちらが打ったか……ワカルカナー



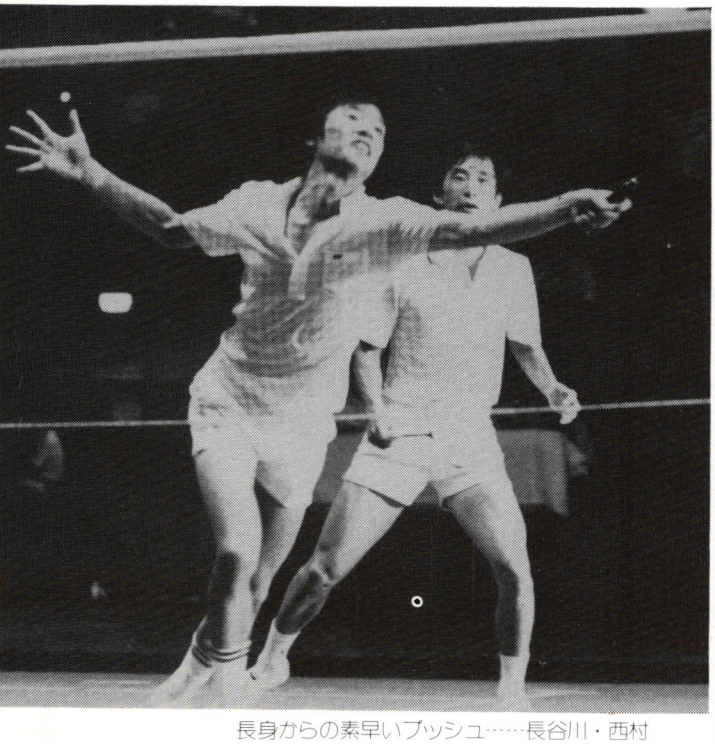
◀チャンピオンの胸をかりる高校生ペア



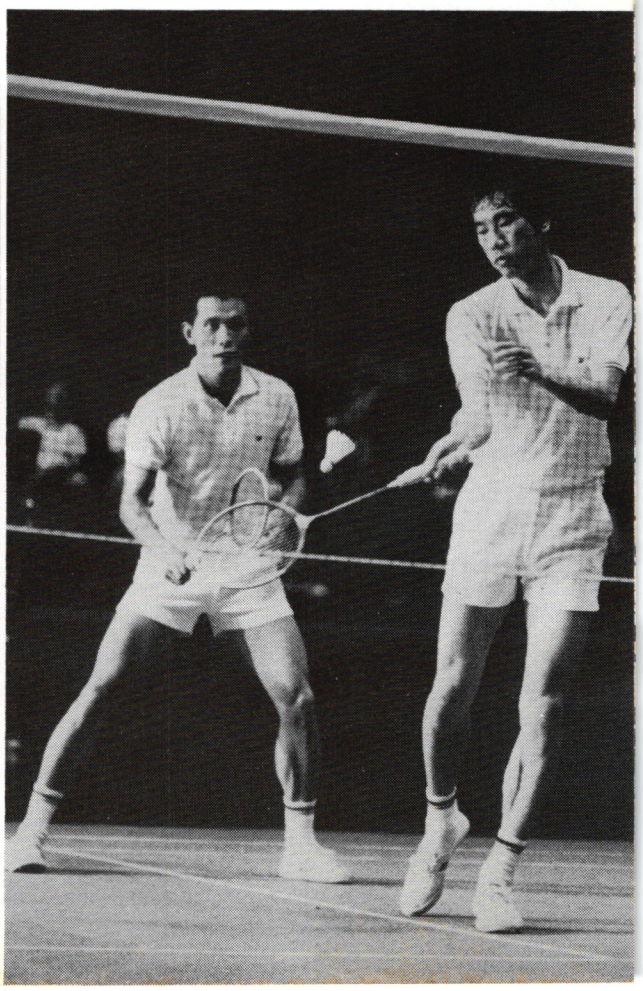
大学生の意地でも……長谷川・西村



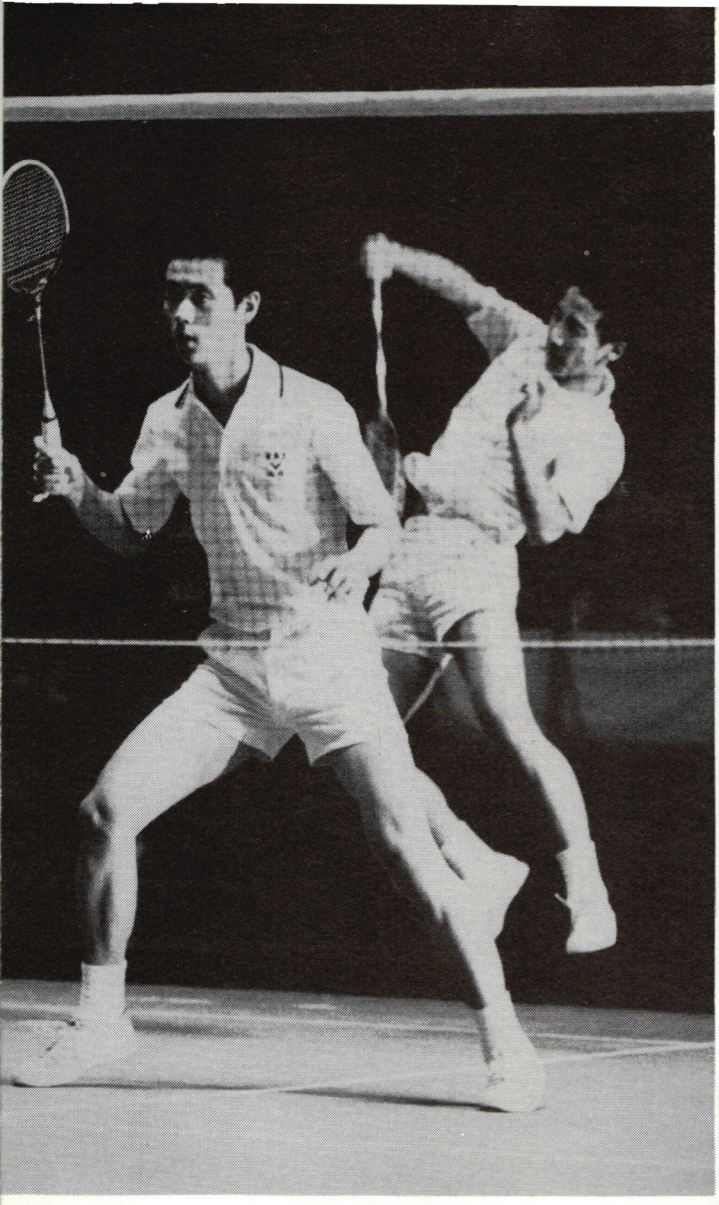
攻撃に威力のある桐生・今井



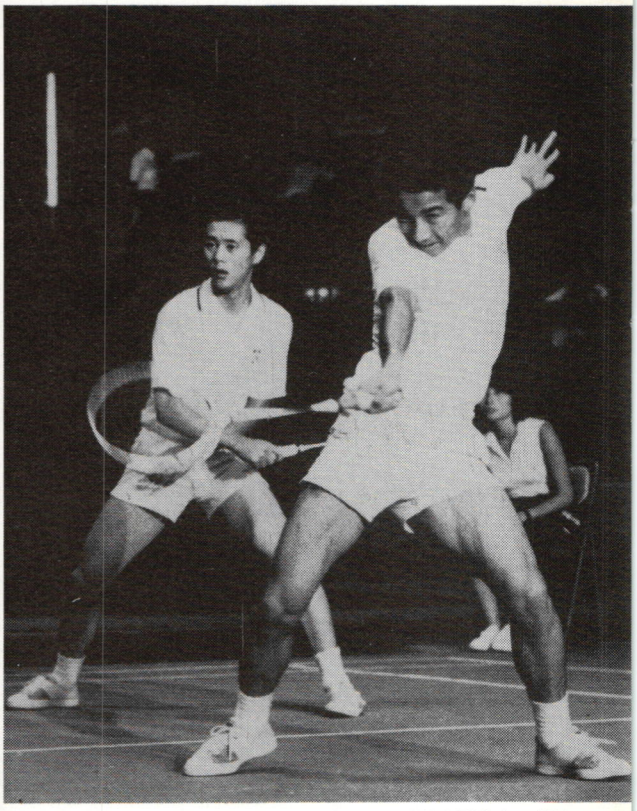
長身からの素早いプッシュ……長谷川・西村



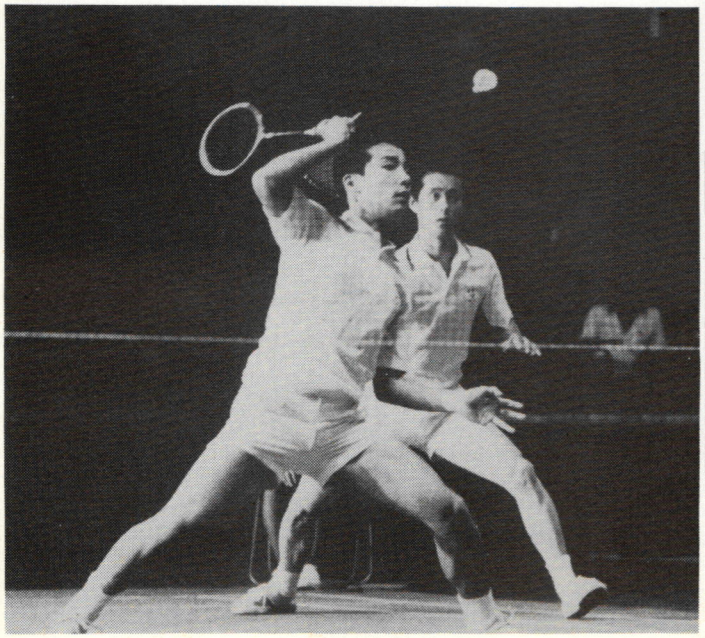
教職員の代表として頑張りました▶



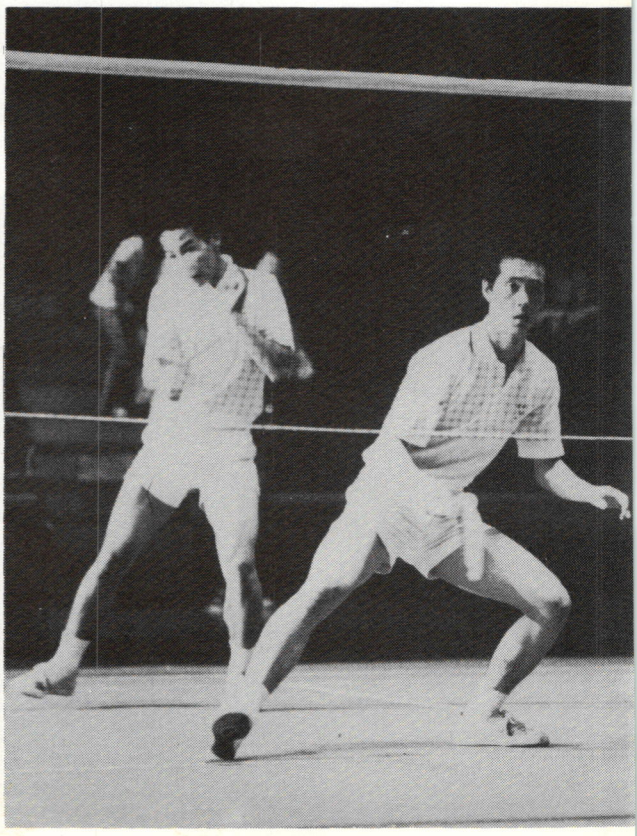
高校生ペアも懸命に打ちまくったのだが



スマッシュをレシーブする重山・坂本



高校生には願ってもない檜舞台



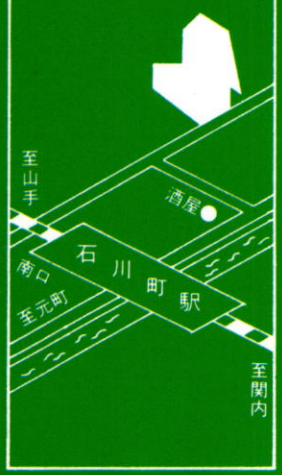
高校生らしいプレーを見せてくれた重山・坂本

# ラケットショップ元田

## ●横浜店

☎045-651-2020

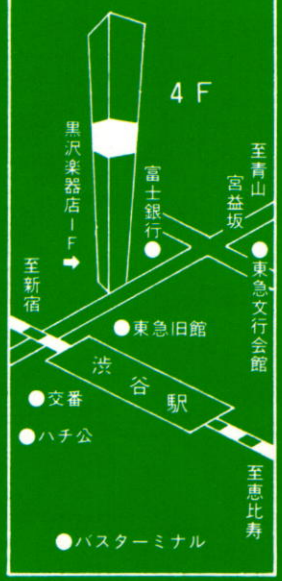
バドミントン
テニス
プロショップ




## ●渋谷店

☎03-400-7390

世界で初めての
バドミントン
プロショップ



◆連載◆お母さんや子供のバドミントンのためのシリーズ・第五回

# "上手になろう"の決心がたいせつ

## ――気をつけてほしい基本のポイント

伊藤基記――熊本女子大学教授・元日本協会指導委員長

バドミントンのようなスポーツは幼少の頃から親しむことができればこれに越したことはない。しかしだからといって、大人になってから全く手おくれかというとさにあらず、方法次第でその年齢、その体力に応じて、バドミントンを楽しみ、ある生甲斐を感じ、生活を豊かにすることは、十分に可能であることは、前号において述べたと記憶しています。

そこで、今回は、相当の年齢になってから……たとえば、お子様が小学校以上にあがって、曜日によっては、スポーツを楽しむ時間的余裕ができたお母さん方、やっと生活が落ち着いた頃、中年太りが気になりだして何かよい種目はないかと、クラブやグループを捜しているうちに、たまたまバドミントンのラケットを握るチャンスに恵まれたというような方々です。いうなれば、中年のビギナーというわけです。

第一に五体満足である以上、心がけ次第で、誰でも必ず上達できるという希望をもって下さい。片腕のすばらしいテニスマンや、五十歳近くから始めて、立派に活躍している御婦人を何人も知っています。

この間、熊本市営体育館で、ママさん大会に、百数十人の方々が技を競いましたが、その中に、故橋本水俣市長の夫人が、七十歳近くで、二十歳代の方々と見事な白熱ゲームを展開しているのには私も驚いてしまいました。

私自身バドミントンのラケットを握ったのは三十八歳の時ですよ。もちろん、それまで、テニスは、西日本で稀に優勝することもあったのですから、ラケットは少年時代から握っていたわけですが。

年輩のビギナーでも上手になれるということを理解して下さいといっているのではありません。**貴女自身が上手になろうと決心していたゞかなければなりません。**

上手になろうと思わない人はないと思いますが、その思いの深さが問題です。**その深さがなければ、中年になってから始める意味がありません。**

第二に、私はいわゆるレクリエーションとして、バドミントンが十分役に立つことには自信をもっていますが、スリッパがけで、借り物のラケットをわしづかみにして、その場限りの羽根打ち遊びをしているのにはどうしても好感がもてません。

いわんや、基本練習もロクにしないで、いきなりゲームをやっているのを見ると嫌な気分にさえなります。**年をとっていれば尚のこと、幼少からの踏むべき段階を、集約して一通り踏んでいただかなければなりません。**いい加減にやる方は必ず、脱落しています。

子供は自然によいフォームをつくりだしますが、大人はある程度**意識的にフォームをつくる必要があります。**先進の経験者から、ラケットの握り方（グリップ）、振り方（スイング）をよくきいて、**強い選手のフォームを前後左右からじっくりと観察して下さい。**

第三に**先ずショート、スマッシュを覚えることです。**これはネットの近くに浮いたフライトを思いっきり、相手方コートの床にたたきこむストロークのことです。

握り方、振り方が正しく、うまく打点をとらえなければ、バードはネットを越えて、しかも床に向って突きささるように飛んではくれません。

従って、このショート・スマッシュは、その人の**ストロークの基本が正しい軌道にのっているか**どうかをチェックする方法

でもあるわけです。

この際、留意点を二、三述べておきましょう。

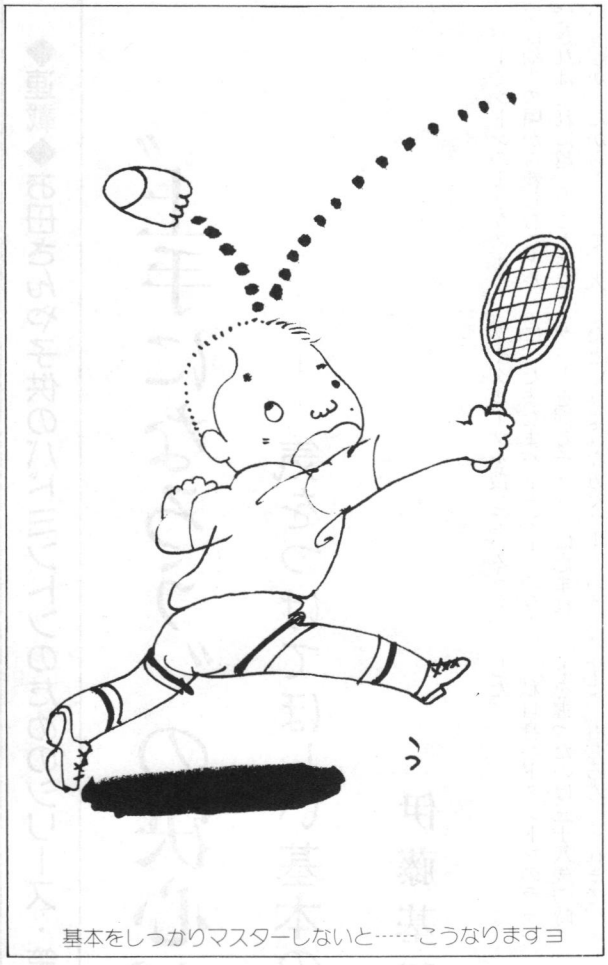
① 左足を踏み込み、左肩をぐっと前にだした姿勢が反動的にとれること。

② **ラケットをかついだ姿勢をはやくとりすぎないこと。**バードを頭上にひきつけて（それまでラケットは右肩の上に軽く握って立てておくのがよいでしょう。）、それから、急に右肩や右ひじをひいて、頭上のバードを前下方にひっぱたく動作を①の動作と一緒にやって下さい。（そうすれば**ラケット・ヘッドは背中で止まることなく、猛烈なスピードで通りすぎます。**）

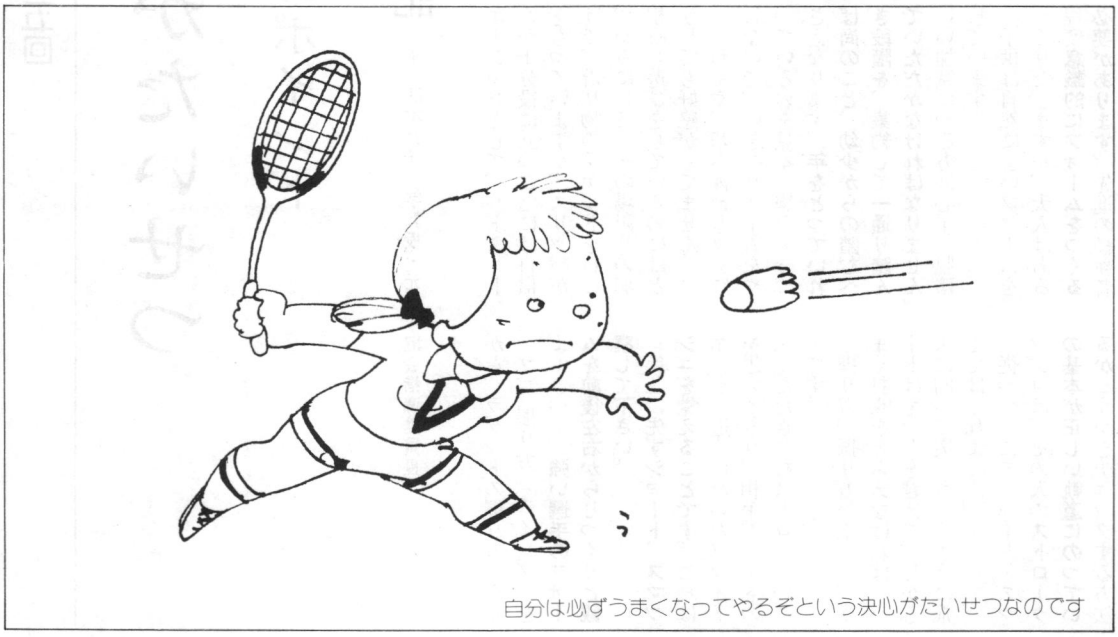
③ ミート（ラケット面とバードが出合うこと）するときに肩に力がいりすぎると、ひじがひきさげられて、ラケット面を、上から下にかぶせることができず、冴えないスマッシュになってしまいますから、**手首をうまく使って**（このとき、正しいグリップが生きてきます）、**ひじを肩より上に保ったまま、スナップを利かせることを忘れないように**……と文章で説明をすると、大変ややこしいことになりますが、実際に上手な人から習えば案外簡単に覚えられるものです。

このショート、スマッシュこそが、貴女の「**全身をむちのように使った強打**」の**基礎**になり、クリア（高く遠く、相手の後方を襲うストローク）をマスターする上に、重要な役割を果たします。その上、**ストローク全体をひきしめて**、冴えたものにする大切なタイミングを体得する上に欠くことのできないものです。

この外にも留意点がありますが、次回に譲りましょう。



基本をしっかりマスターしないと……こうなりますヨ



自分は必ずうまくなってやるぞという決心がたいせつなのです




SunBatta

BADMINTON RACKET

# S-75

Rush

サンバタ

# 一九七六年全英選手権大会不参加
# およびアジアバドミントン招待選手権大会参加の経過について

●日本バドミントン協会

去る3月に開かれた全英バドミントン選手権大会の際、日本はアジアバドミントン連盟の決定に従い、〝全英選手権不参加・アジア招待競技会派遣〟の方針を打ち出しました。全英選手権大会の女子シングルス（湯木博恵）、女子ダブルス（相沢マチ子・竹中（現梅野尾）悦子）の二タイトルを保持していながら、この方針により、棄権（不出場）のやむなきに至りました。この件に関し、読者の方方から「なぜ不参加を決定したのか」、「新聞で連日報道されているのに、なぜ誌上で見解を公表しないのか」というお叱りを多数お受けいたしました。編集部といたしましても、この〝全英不参加〟問題の起こった直後に、「日本協会としての公式見解」を求めましたが、その入手に手間どり、実に7月20日に至ってようやく以下の「公式見解」を手にいたしました。

すでに半年以上が経過し、まったくのところ〝色あせた〟ものとなりましたが、ここに掲載し読者の皆様のご了解を頂きたいと思い、同時に編集部の非力をおわびいたします。

（なお、改行用語句読点はすべて原文のままですが、用字については一部訂正いたしました。例＝旧字→新字に）

× × ×

一九七五年六月ロンドンにおいて開催された国際バドミントン連盟臨時総会およびその翌日開催された定期総会は近年のＩＢＦ総会で特記すべきものでありました。

つまり臨時総会においては、アジアがアジアの地域内部で行う大会に対しては大幅な自由採量権をＩＢＦに認めさせたことであり、定期総会においては、中国加盟、台湾の会員国辞退を求める声がＩＢＦ加盟国の⅔以上の意志と表明されたのです。

しかし英国協会及びその影響下にある幾つかの協会の反対により重要事項決定には¾の賛成を必要とするという条項により中国加盟は否定されました。これには、バドミントンに永い歴史を持つ国、会員数の多い国は三票を持つという現行規則及びバドミントンは英国からはじまったため、英国は更に四つに分れイングランド、スコットランド、アイルランド、ウェールズがそれぞれ独立で票を持つという規則（例えば日本が北海道、本州、四国、九州で加盟してそれぞれ票を持つといった感じ）により英国の賛成を得られない限り動きがとれない状況が明かにされた訳です。

この事に関しては従来から多くの批判があり、バドミントンがＩＢＦ結成当時と異り全世界に拡がった今日、もっと非英国的な国際的な管理方式が求められているのですが、仲仲改められないのが現状です。

この点に非常に反発したのがアジア諸国で、特に世界選手権が男女共アジアに存在してい

るにも拘らずヨーロッパの下風に立っている現状に反発しＩＢＦ総会直後ロンドンにおいて英国協会の態度に反発し英国協会の主催する競技会に非協力を声明致しました。

アジア招待選手権はアジアの抗議を表すもう一つの態度としてバンコクにおいて開催された訳であり、日本としてはＡＢＣ（アジアバドミントン連盟）加盟国としての責任上これに出来る範囲において協力し四選手を最終的に派遣した訳であります。

この上記の問題は今日も尾を引き、一九七六年六月バンコクにおいて開催されたＩＢＦ総会（英国系以外の大多数の国の熱望によりＩＢＦ総会が成立後初めてロンドン以外で行われた歴史的な総会でした。この場所の決定は、単純多数によって決定されます）においては、旧態依然とした現ＩＢＦに袂別して新しい世界組織を作ろうとする動きもアジアを中心として強かった訳です。

しかし、現在、日本協会の立場は、全世界の最高プレイヤーが全員一堂に会して競技が出来るよう、中国を現在のＩＢＦに加盟させて、現在のＩＢＦを逐次内側から改善して行くことをその対外基本方針としてヨーロッパ諸国にもアジア諸国にも困難ではありますが一生懸命の働きかけを行い、日本が今春なめたなやみを二度と味うことのないよう、又世界のトッププレイヤーが一人ももれなく国際大会に参加出来るよう懸命の努力を払っているのが現状であります。

短信

# 岡山県体育大会 バドミントン競技会開かる

●7／23～24＝岡山市

岡山県体育大会バドミントン競技兼第31回国体バドミントン競技岡山県予選会・少年男女の部は、去る7月23日、24日の両日岡山市県営体育館で開催された。

各種目に熱戦がくり広げられたが、結果は次のとおりであった。

▼少年ダブルス▽準決勝

守安・池本（水工）2－1北村・佐々木（倉工）、西平・安田（水工）2－1亀井・近藤（西）

▽同決勝

守安 池本 2（15－3 15－5）0 西平 安田

▼少女ダブルス▽準決勝

梶田・田辺（山）2－0岡本・曽我（中）、小野・藤原（中）2－0串田・斎藤（山）

▽同決勝

梶田 田辺 2（11－10 11－4）0 小野 藤原

▼少年シングルス▽準々決勝

守安（水）15－2、15－10北村（倉工）、安田（水）16－18、17－14、15－8永山（倉工）、戸田（水）15－6、15－10池本（水）、横山（倉工）13－18、15－8、15－10西平（水）

▼同準決勝以下スコア不明

▼少女シングルス▽準々決勝

森下（山）2－0梶田（山）、上神（山）2－0藤原（中）、小野（中）2－0亀山（山）、田辺（山）2－0峰政（山）

▽同準決勝

森下2－0上神、田辺2－1小野

▼同決勝はスコア不明

## お詫び

本誌第81号表紙3メトロレジャー株式会社様広告中の写真が編集部の手落ちでA、B逆に印刷されました。深くお詫びして訂正致します。

# New Products Information

## 有名スポーツ店で販売しております◆




カーボネックス３（ヨネックススポーツ）

## カーボネックス３
## ●ヨネックススポーツ
## ブラッキー

●先進競技国であるヨーロッパや東南アジアでのバドミントンは、水鳥球とスチールシャフトラケットの歴史を初めから築いていました。しかし日本では、陸鳥球で育ったバドミントン、それが水鳥球へと移り変っていった時、やはりラケットもウッドシャフトのラケットからスチールのものへと変わりました。

そういった時代の流れを的確にとらえ、その時のプレイに合ったラケットを研究し追求していったヨネックスが、水鳥球時代のフルスウィングプレイヤーのために完成させたのがロングシャフトラケットです。

水鳥球を打つ、より適したストロークは、スナップだけを使うスウィング、ところが、陸鳥の場合は、フルスウィングストローク。このスウィングの相違から生じる、シャトルを捕えるタイミングの違いを克服し、陸鳥球で育った日本のフルスウィング中心のプレイを、水鳥球でのプレイに可能ならしめたラケット、それがこのロングシャフトラケットです。

今、ラケット製作における、数多くの経験を生かし、ついに完成した新素材のラケット〝**カーボネックス３**〟と、ヨネックスが開発した好評の**特殊合金メタルラケット**をご紹介しましょう。

●先進競技国をはじめとする世界の一流プレイヤーたちが、カから技、そしてまた力へのプレイと移ってきました。その動きをいち早く読みとり、その技術にぴたりと合わせたラケット、〝**カーボネックス３**〟は抜群の反発力をもつカーボンシャフトを使用、すべてのストロークに適合するオールマイティなラケット、まさに時代の要求に応え、世界の要望に応えた名作といえましょう。つねに、限界に挑戦し追求を止まないヨネックスならではの新製品です。

●スナップだけでスウィングする人のために充分な効果を生むフレームの軽いメタルロングシャフトラケットはすでに定評あるもの。

その代表が、時速280kmのスマッシュを生む全身まっ黒のラケット〝**ブラッキー**〟です。その秘密は、ヨネックスが初めて可能にした極細の特殊ステンレスロングシャフト。ぐんと細身で、息をのむ反発力です。そのうえ特殊合金フレームの強さがプラスされ切れ味のよい攻撃力を発揮するラケット。世界で一番多く使われているのが、この〝**ブラッキー**〟です。

〈全面広告〉

# 新製品紹介コーナー

◆このコーナーで紹介した製品は全国



ブラッキー（ヨネックススポーツ）

## No. B45 ハイトーマス ●ゴーセン ¥4000

今度わが社では竹製なればこそ発揮できる威力が、バドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積、ここに今話題のバンブーラケット《**ハイ・トーマス**》を誕生させました。

特長は、竹と木による合板のため、フレームが強靱、竹の特性と細くて長いテーパーシャフトにより反撥力と反撥音が抜群、薄いフレームに竹独特の強さで、振りがシャープになり素早い動きができ、また、ガット張りによるラケットの変形がないなど、竹の特性を生かした利点が多く、スピード・パワー・スマートを要求する近代スポーツに必ずマッチすることでしょう。

（12月16日より¥4500）



ハイトーマス（ゴーセン）

## No. 1900 ウインテックス ¥700 ●ゴーセン

すでに好評を博しているゴーセンがガットの中で今爆発的人気を呼んでいるのがこのカーボン入《**ウインテックス**》ガット。この《**ウインテックス**》は超強力のナイロン芯にカーボンフィラメントをらせん形に巻き付けたもので、ステンレス・ワイヤーつきのため、長時間ゆるみがこず、耐久性にすぐれ、鋭い反発力が得られる。

また特殊性油とカーボンフィラメントの作用によって温度、湿度の激変にも変質せず、すべての点で従来のナイロンガットにまさるものです。

チャンピオンを目指す諸君のラケットにこのゴーセンの技術陣が創りあげた傑作《**ウインテックス**》が必ずや、フィットするはずです。




ウインテックス（ゴーセン）

特別寄稿＝夜明けの時代をふりかえって――3

# わが国バドミントンの発祥と協会発足の回想

広田兼敏・日本バドミントン協会副会長

戦前の歴史、記録については、筆者の事業日記に記されてあるのみで、他には全然ないので、もう二、三の事項を書き加えておくことにする。

## 横浜ＹＭＣＡチームの関西遠征

昭和十五年七月十三日、於大阪ＹＭＣＡ

当時、関東においては五チームのみで、東京はじめ他県にプレイヤーもなく、関西においては大阪ならびに神戸ＹＭＣＡのみが、横浜ＹＭＣＡの筆者の励めにより、はじめて正式練習を開始、チームを組織した。従って、関西遠征といっても、東西ＹＭＣＡの対抗に過ぎなかった。成績は横浜ＹＭＣＡのワンサイドゲームで、横浜は単に「五―零」、複に「三―零」で大阪をリードし、続いて翌日行なわれた神戸ＹＭＣＡ戦には単に「四―零」、複に「三―零」で連勝、試合はこのように横浜の一方的勝利に終わったが、この試合により大阪、神戸等の関西側も、真のバドミントン戦法を学び取り、大勢の観衆がバドミントンの真の試合に興味を深め、普及発展に成果が多々あったことは慶びであった。

## 秋季リーグ戦

十五年十月十日、十四日、二十一日の三日間、ＹＭＣＡ体育場において開催した。

ＹＭＣＡの技術は全然他チームを抜いて、このリーグも一位＝ＹＭＣＡ（全勝）、二位＝ナルト（２勝１敗）、三位＝古河電線（１勝２敗）、四位＝コロムビア（０勝３敗）で、春季同様の成績でＹＭＣＡ全勝に終わる。

## 紀元二千六百年記念全神奈川県選手権大会

昭和十五年十一月十四、十八、二十一日の三日間、横浜ＹＭＣＡにおいて開催。単一位＝佐藤保（ＹＭＣＡ）、二位＝寿（ＹＭＣＡ）、三位＝福本（ＹＭＣＡ）、複一位＝佐藤（ＹＭＣＡ）、仲地（ＹＭＣＡ）、二位＝山本（ＹＭＣＡ）、寿（ＹＭＣＡ）、三位＝福本（ＹＭＣＡ）、兼松（ＹＭＣＡ）組で、全員、ＹＭＣＡメンバーの上位入賞。参加者は四十八名の多数に達し、審判長ならびに大会会長は筆者がつとめた。

## 昭和十六年度

この年も協会加盟はＹＭＣＡ、ナルト、コロムビア、古河電線の四チームに限られたが、この四チームによりできるだけあまり勝敗にこだわらず、ほとんど毎週のように時間を都合して（毎回ＹＭＣＡ体育場を無料公開）、ＹＭＣＡの招待試合に参加。一方、この年も春、秋のリーグ戦ならびに選手権大会等をＹＭＣＡコートを使用して正式に開催。他にＹＭＣＡはただ一つの強敵であったＹＣ＆ＡＣ（外人スポーツクラブ）と互いに親善を計り

つつ技術の向上に努力したものである。

## 試合をするのさえ困難だった

十六年に入り、YMCAクラブを除く古河、ナルト、コロムビア等の団体は、時局柄、開戦直前の仕事に切替え、共にメンバー移動等でメンバーに不足を来たし、そのチームの編成に困難を生じて来た。正規のメンバーを揃える正式試合出場は全く不能となったことは心淋しいことであった。

## 初めて国際試合の機会が

昭和十七年に入り、タイ国学生軍対横浜YMCAの親善試合、二月八日横浜YMCAにおいて。この試合において、横浜軍は善戦、単で4対2とリードしたが、複の練習不足のため不調。三試合共に接戦を演じながら勝運に恵まれず、5対4で惜敗したが、しかしこの最初の国際試合により、バドミントンを国技として年長経験を有するタイ国ダブルスのローテーションシステムの実際を学び、その前提としてのサイド・バイ・サイド、アップ・アンド・バック、あるいはダイヤゴナル戦法等、彼の国の国技とも称するバドミントンダブルスプレイの実際に接したことは大きい収獲であった。

## 講習会の機運も

わが国最初のバドミントンの正式の一般講習会は、昭和十七年六月十八日横浜YMCA体育場において、広田講師の下に佐藤、山本両氏を助手として開く。参加者三十数名、ルールの解説、単・複各種の戦法、シャトルコック（一名バーズ）の飛行ライン、およびその使用法、審判法等、全般を指導。この講習会により技術の上達はもちろん、一般人の新しいプレイヤーが多数続出したことは慶ばしかった。

## YMCAの活躍

続いて七月三日、四日、春季選手権大会を開いたが、参加者四十五名。男子……シニア単一位＝佐藤、二位＝山本、三位＝寿、女子単一位＝池端、二位＝エマール、三位＝赤山、混合一位＝広田・中村組、二位＝ハリス・エマール組、がそれぞれ優勝。今回よりYC&AC（外人スポーツクラブ）員が多数参加して賑わったが、YMCA善戦して各種目に全勝する。

## 勝星を重ねる

昭和十八年度は相手のチームが全部戦時事業に切替え、ただ一つ戦争に関係のないYC&AC（外人スポーツクラブ）を相手に幾回かの親善試合を交した。外人チームのバドミントンシーズンは十月より四月までの、いわゆるウインターシーズンで、この間YMCAはシーズン中七試合を交し、第一軍は五戦五勝、YMCA第二軍は二戦して一敗一引分けの好成績を残して終わった。

## 白衣の勇士招待

昭和十八年（戦のさ中）、六月十二日に前線より帰国入院中の白衣の勇士を、当時、筆者の指導していた青空クラブ（女子スポーツクラブ）がYMCAに招待、相模原の陸軍病院の白衣の勇士を招いて慰問を兼ねて招待試合を交した。招待勇士二十五名、YMCA青空クラブ員十五名。

## 戦前の終幕

前記の如く発達の一途をたどってきたバドミントン競技も、横浜YMCAを中心として発祥、普及されて以来約十年間の歩みを続けてきたが、時あたかも情勢の深刻化と共に、残念ながら昭和十八年五月、他の競技団体と運命を共にし、時局緊迫のため、折角の協会も一時解散の止むなきに至り、以後は留守を守るYMCAの有志を中心に相集い、招待試合或いは部内親睦大会等により、細々ながら継続して来たが、昭和十九年に入り、バーズ（羽）の製造者もなく、入手困難を来たし、わずかに残存の羽を大切に使用するという、全く心細い状態となり、秋季に入り、ますます戦局の苛烈化と共に、十月をもって、一時全くこのゲームも休止符を打った次第である。

# 審判に関する100問集 ⑤

## 日本教職員バドミントン連盟編

**問56　ダブルスのとき、サーバーが位置を間違えてサーブしたのですが、一瞬ためらったため、ラリーが始まってしまい、あわててストップさせました。そして、正しい位置にもどしてからサーブさせました。この処置は正しいでしょうか。**

**答**　一度、サービスがなされたならば、ラリーは中止させない方がよいのです。というのは、アウトサイドがこのラリーで勝つと、間違ってサーブしたのですから「レット」となります。（規則12条）

従って、ラリーの途中で中止させることは、間違わなかった側、この場合は、アウトサイドの不利になるわけですからね。

**問57　ダブルスの主審をしていて、ラリーが終ったのち、Aチームから「いまファースト・サーバーですか」と聞かれて、「そうです」と、うなずいてしまいました。（実は、セカンド・サーバーだった。）Bチームは、そんなやりとりは聞えなかった。ところが、Aチーム側がミスをしたので、主審は「セカンド・サーバー」とコールすると、Bチームから「いまのは、セカンド・サーバーだったのだから、サービス・オーバーだ」と記録ノートを示され自分の間違いに気付き訂正し、「サービス・オーバー」とコールした。すると、今度はAチームから「ファーストだと云ったのだから、このコートからサーブしたので、セカンドなら、あちらのコートからサーブすべきだから、今のはレットだ」といわれました。どうしたらよいでしょうか。**

**答**　主審が「ファースト・サーバーです」といったのは、まちがいだったのですから詫びて訂正します。

また、セカンド・サーバーであるのにファースト・サーバーと云われたからサービス・コートが変わるはずがありませんから、Aチームからの訴えは採り上げる必要はありません。そして、この場合でしたら、サービス・オーバーとします。

**問58　ダブルスで、レシーバーのパートナーがサーブする直前に、突然ダッシュしたので、サーバーが驚いて、サービスのかまえを止めてしまったので、サーバーのフォルトを宣したのですが、この判定は正しいでしょうか。**

**答**　この問題は、二つに分けて考えることができます。サーバーがサービスの構えから、それを止めればフォルトですが、レシーバーのパートナーが意図的に動くことによって、サーバーを妨害したと、主審が認めれば、レシーバーの側のフォルトになります。（規則14条の4、同16条）しかし、主審が、レシーバーの妨害を認めなければ、逆にサーバーのフォルトになるのです。

**問59　ダブルスの途中で、パートナーが、けがをしたので、これを退場させ、一人で頑張りたいと申出があったのですが、そのまま続けさせるべきでしょうか。**

**答**　ダブルスは二人と二人が、それぞれペアーを組んで試合をすることですから、一人が欠ければダブルスになりません。一人退場した場合は、その試合は、棄権となります。（規定43条）

**問60　「オーバーウェスト」や「オーバーハンド」は、第Ⅰ編を読んでよくわかるようになったのですが、実際に主審をしてみると、その判断がむずかしく困るのですが。**

**答**　オーバーウェストは、ラケットとシャトルが打たれる瞬間に、シャトルが、サーバーの腰（腰と思われる線）より高くてはならない（規則14条－1－1）の意味ですね。これは、第Ⅱ編の問71の写真を、よく見て下さいね。

質問の主旨は、きっと、腰の線が、女子のワ

ンピースのように、はっきりしない場合でしょうか。または、左右の腰の上端が（選手のかまえの形から）異なるときでしょうね。スカートやパンツのときは、その上端をウェストと判断するでしょう。ワンピースの場合は、はっきりした線がないのが多いので、主審やサービス・ジャッジは、自分なりに腰の線をきめて判定しなければなりません。また、左右のウェストの高さが異なる場合は、当然高い方のウェストを基準とするのです。次に、オーバー・ハンドは、ラケットの頭部が、ラケットを持っている手より、あきらかに下でなければいけません。これも、第Ⅰ編の問72で詳細に説明しましたように、手の部分のラケットの頭部の間が明瞭にあいていなければなりません。ですから、技術的には、ラケットの面も少し床に水平になるように、切るようにして打ったりして頭部を少しでも下げる工夫をしているプレーヤーもいますね、然し、現行の試合をみていると可成りオーバー・ハンドが多いようですから、主審としては、どしどし「フォルト」をとって正しいサービスで試合を行なうようにしなければ、いけませんね。

## 第4章　ネット近くの事例

**問61　プレーヤーがネット近くでプッシュをしたとき、シャトルが床につくのと同時位にラケットがネットにふれたので「フォルト」を宣しました。この判定は正しいでしょうか。**

**答**　「タッチ・ザ・ネット」の判定ですね。プッシュして、ラケットがネットにふれる時間と、シャトルが床につく時間とでは差があると思いますが本当に同時だとすれば、「レット」ですね。いわゆる同時フォルトといい「レット」となるのです。

シャトルが床についてから、ラケットがネットにふれたのなら「フォルト」にはなりませんね。また、シャトルが床につく前にネットにふれたならば当然「フォルト」です。

これは、着衣や体の一部がネットにふれた時も考えにいれなければいけませんね。

**問62　プレーヤーがネットの近くでスマッシュしようとしたとき相手のプレーヤーがラケットをあげてきたので、「フォルト」を宣しました。対手のプレーヤーは、たしかにラケットをあげたが、顔を防ぐためだと主張します。どう解釈して判定するのが正しいでしょうか。**

**答**　競技規則14条の10項の妨害行為に該当するか、どうかということですね。これは、一般規定の第20条の解釈に関するものです。ご承知のようにこの20条は、「プレーヤーがシャトルをネットのすぐ近くで下方へ打つときは、対手は、シャトルがはね返えるかも知れないような状態で、ネットの近くでラケットを上げてはならない」と規定し、これは、第14条第10項の妨害となるわけです。しかし、プレーヤーは、対手を惑わさなければ、顔を防ぐためにラケットをあげるならば許されますので、プレーヤーがいうように、本当に顔を防ぐためであったかどうか、状況により判断するのが主審の任務ということになりますね。

## 第5章　会場での事故

**問63　試合中、突然停電してしまいました。かすかに見える程度でしたが、停電直後に、主審のすぐそばの対手側のコートにシャトルが落ちたので、主審としては「イン」と判定したところ、「レット」ではないかと質問されました。これを認めるべきでしょうか。**

**答**　第四回の全国中学生大会（東京）のとき、突然それも二回にわたって停電したことがありました。大会会場の明るさは、コート上縁で五〇〇ルックス以上必要としています。（規定48条）かすかにみえる程度では、正しい照明で正しい競技がおこなわれたとはいえませんから、主審は停電と同時に「レット」を宣します。従って、質問の場合は改めて「レット」として下さい。

**問64　停電で、その日は試合が続行不可能となりました。後日、試合再開の際のスコアーはどうなりますか。**

**答**　その日の試合は、おこなわれなかったものにして処理されます。団体戦の場合は、勝敗のきまった試合まで有効としますから、後日、再開のときは、オーダーを変更することはできません。（規定44条）

## 長崎県バドミントン協会（松浦市にて施行）

審査委員　中島泰二
片平直照

| | | | |
|---|---|---|---|
| 川上利章 13415 | 池田文子 13416 | 松尾綵子 13417 | 深堀清二 13418 |
| 福田稔 13419 | 小田切俊夫 13420 | 浜崎美千代 13421 | 浦上亮三 13422 |
| 相知幸子 13423 | 浦上紳子 13424 | 山口矩弘 13425 | 中島豊 13426 |

## 岐阜県バドミントン協会（大垣市にて施行）

審査委員　天野鎮一
伊豆晃

| | | | |
|---|---|---|---|
| 田中充夫 13427 | 井崎善雄 13428 | 馬場信作 13429 | 友岡幸一 13430 |
| 白山秀一 13431 | 大西正芳 13432 | | |

## 群馬県バドミントン協会（太田市にて施行）

審査委員　上田敬次
江黒亘

| | | | |
|---|---|---|---|
| 境上久美子 13433 | 岡部洋子 13434 | 石井美奈子 13435 | 大塚美枝子 13436 |
| 笠原幸代 13437 | 金井則子 13438 | 亀井道子 13439 | 河田公子 13440 |
| 木村啓子 13441 | 高沢洋子 13442 | 高島まゆみ 13443 | 丸山由美子 13444 |
| 斎藤淳子 13445 | 大山弥生 13446 | 白石弥生 13447 | 柿沼和子 13448 |
| 星野晴美 13449 | 福田真由美 13450 | 中里良昭 13451 | 茂木英紀 13452 |
| 鈴木正昭 13453 | 松島ゆかり 13454 | 吉野茂男 13455 | 星野寛一 13456 |
| 星野英樹 13457 | 磯田吉彦 13458 | 栗崎光江 13459 | 西沢正子 13460 |
| 山口幸子 13461 | 栄木政世 13462 | 真下由美子 13463 | 松田高美子 13464 |
| 石倉康江 13465 | 山田昌子 13466 | 伊藤春見 13467 | 金子美津子 13468 |
| 板橋美千代 13469 | 亀井みゆき 13470 | 青島ふさ江 13471 | 松島恭子 13472 |
| 横堀美恵子 13473 | 岩丸久仁子 13474 | 狩野倬一 13475 | 奥原澄子 13476 |
| 竹内容子 13477 | 大川敏子 13478 | 浦野守男 13479 | 山県求美 13480 |

## 東京都バドミントン協会（荒川区にて施行）

審査委員　組村明
三須徳次

| | | | |
|---|---|---|---|
| 佐々木征一 13481 | 佐藤裕美 13482 | 豊島任世 13483 | 松本康之 13484 |
| 渡辺安基子 13485 | 荒井靖夫 13486 | 岡沢哲夫 13487 | 緒方清 13488 |
| 北川スミ子 13489 | 栗原保夫 13490 | 小林容子 13491 | 小室敏夫 13492 |
| 瀬間寛子 13493 | 戸沼久 13494 | 永迫智恵子 13495 | 中野いずみ 13496 |
| 中山恵子 13497 | 野地武海 13498 | 宮岡和雄 13499 | 宮岡隆 13500 |
| 棟方藤子 13501 | 山田明美 13502 | 湯本壮吉 13503 | 江黒成明 13504 |
| 清水等 13505 | 鈴木早苗 13506 | 鶴岡博孝 13507 | 中島節子 13508 |
| 西野和男 13509 | 星一男 13510 | 酒井一 13511 | 田中行広 13512 |
| 山中和朗 13513 | 阿原成光 13514 | 佐藤一雄 13515 | 松岡由樹 13516 |
| 笹岡博明 13517 | 多田賢一 13518 | | |

# 三級公認審判員になった人々の氏名発表

## 富山県バドミントン協会（藤園女子高校にて施行）昭和51年2月15日

審査委員　内田小五郎
　　橋本正弘

| | | | |
|---|---|---|---|
| 天坂幸治 13325 | 加藤千恵子 13326 | 北浦径子 13327 | 小山直子 13328 |
| 富沢ゆかり 13329 | 橋本宏美 13330 | 千田満 13331 | 滝川博 13332 |
| 横山勝敏 13333 | 浦野孝一 13334 | 野村雅之 13335 | 牧野美枝子 13336 |
| 四日美恵子 13337 | 二日夕紀 13338 | 村田佳元 13339 | 佐々木利一 13340 |
| 荒家伸一 13341 | 厚木乙彦 13342 | 熊藤武夫 13343 | 高見光男 13344 |
| 藤谷さち子 13345 | 奥村雅子 13346 | 北川和実 13347 | 芝田百合子 13348 |
| 桑原幹子 13349 | 仲俣弘美 13350 | 中陳智子 13351 | 山本順子 13352 |
| 飯沢順子 13353 | 中村晴美 13354 | 窪田敦子 13355 | 林みゆき 13356 |
| 松井明澄 13357 | 宮津正明 13358 | 浜田好美 13359 | 浜田浪恵 13360 |
| 高沢文子 13361 | 藤田和美 13362 | 竹腰八重美 13363 | 吉森勝之 13364 |
| 富樫悦子 13365 | 富樫里美 13366 | 古井孝子 13367 | 友井晋作 13368 |
| 野崎靖弘 13369 | 清水邦浩 13370 | 楚輪昌裕 13371 | 白川勉 13372 |
| 町慎一 13373 | 斎木智子 13374 | 笹木典子 13375 | 浜井和枝 13376 |
| 梅野有香 13377 | 山本美智子 13378 | 石黒成子 13379 | 南利枝子 13380 |
| 松原律子 13381 | 広海幸子 13382 | 直下陽子 13383 | 竹中敏光 13384 |
| 島津豊 13385 | 今井治広 13386 | 小泉博義 13387 | 町田博志 13388 |
| 吉口誠 13389 | 奥田幸雄 13390 | 奥村英二 13391 | 居畑勇 13392 |
| 大浦義一 13393 | 田中美智子 13394 | 武田千賀 13395 | 近藤純子 13396 |
| 高谷直美 13397 | | | |

## 長崎県バドミントン協会（諫早市にて施行）

審査委員　中島泰二
　　片平直照

| | | | |
|---|---|---|---|
| 荒木巧 13398 | 浜司晃 13399 | 田口勝覧 13400 | 佐藤繁雄 13401 |
| 井手洋一郎 13402 | 木下京子 13403 | 下田栄子 13404 | 高森勤 13405 |
| 崎田哲享 13406 | 塚本正男 13407 | 月下芳樹 13408 | 秋山二三夫 13409 |
| 林田英明 13410 | 永川保子 13411 | 田中恵 13412 | 田中美保子 13413 |
| 前田恭助 13414 | | | |

◆揃えて保存すればバドミントンの百科事典になる◆

# バドミントン界バックナンバー販売一覧表

1号＝品切れ
2号＝品切れ
3号＝品切れ
4号＝品切れ
5号＝品切れ
6号＝品切れ
7号＝品切れ
8号＝品切れ
9号＝品切れ
10号＝品切れ
11号＝品切れ
12号＝品切れ
**13号＝100円**
▼インタハイ▼監督・選手の手記▼日本協会の組織と運営▼私の指導法
**14号＝100円**
▼教職員大会▼関西学生界の現状▼自衛隊でバドミントン
15号＝品切れ
16号＝品切れ
17号＝品切れ
**18号＝100円**
▼全日本総合選手権▼同大会写真グラフ▼バックハンドの徹底的研究
**19号＝100円**
▼アジア大会総まくり▼インドネシアバドミントン界の実情▼ルール100問▼百年の大計を考えよ
20号＝品切れ
**21号＝100円**
▼バドミントン発展のために▼全国に広げよう、ママさんバドミントン▼バドの守りと攻め
22号＝品切れ
23号＝品切れ
24号＝品切れ
**25号＝130円**
▼私たちの練習法▼インタハイ▼小島はハルトノになぜ勝てぬ▼ネットの話
**26号＝130円**
▼相沢・竹中特集▼ばどみんとん昔話▼ここがききたい▼勉強とクラブは両立するか
**27号＝130円**
▼中国をめぐる動きと現状▼黒潮国体▼学生界展望
**28号＝130円**
▼ホープ順調に成長▼女子学生界を展望する▼小島海外で活躍▼ワイド版〝読者の広場〟
**29号＝130円**
▼全日本総合選手権特集▼高木が女王にカムバック▼近づくユ杯▼代表選手を診断すれば
**30号＝130円**
▼第1回国際女子競技会▼世界をめざす▼全国の用具アンケート▼百万人のバド上達法
31号＝品切れ
**32号＝130円**
▼海外遠征総まくり▼近づくユ杯と海外情勢▼第一線選手アンケート
33号＝品切れ
**34号＝130円**
▼ユ杯の三連勝なる▼栄光と熱戦のあと▼神様に昇格した中山主将▼栄冠、涙あり
35号＝品切れ
36号＝品切れ
**37号＝130円**
▼ト杯アジア東地区決勝▼ミュンヘン五輪報告▼全国中学生大会▼百万人のバド上達法
38号＝品切れ
**39号＝130円**
▼鹿児島国体▼全日本学生選手権▼大衆スポーツ活動の基盤と現状▼バド72年10大ニュース
**40号＝130円**
▼47年度全日本総合選手権▼小島〝復活〟▼女子ホープは目白押し▼アマチュアリズムとは
**41号＝130円**
▼第2回国際女子競技会▼欧州の女王▼たくましく変身した欧州勢
42号＝品切れ
43号＝品切れ
44号＝品切れ
45号＝品切れ
**46号＝130円**
▼中国の実力とその周辺▼ハルトノ以外対抗できず▼中国×英国4戦の全記録
**47号＝130円**
▼第24回インタハイ▼金沢市工と四条畷に栄冠▼西村、単複ともに危げなし▼徳田〝中山二世〟
**48号＝130円**
▼第1回日中競技大会▼抜群のスピードとテクニック▼中国強し▼中国10戦全勝を飾る
**49号＝130円**
▼48年度全日本総合選手権▼小島輝くV7▼湯木も王座ガッチリ▼28回国民体育大会
**50号＝130円**
▼中国チームから得たもの▼日中大会における中国3選手（湯・侯・陳）に学ぶ連続写真
**51号＝130円**
▼第3回国際競技大会▼女子の活躍で日本選抜辛勝▼連載（小島一平）
**52号＝220円**
▼全英選手権大会▼湯木2度目の女王の座へ▼相沢・竹中3連勝ならず▼連載（小島、中山）
**53号＝220円**
▼全英選手権を終えて（湯木博恵、栂野尾昌一）▼スナップ写真集▼連載（小島、中山）
**54号＝220円**
▼第1回ピンナップ特集▼外国からの挑戦者たち
**55号＝220円**
▼第五回女子チャンピオンズ▼連載（小島、中山）▼バドミントンと私
**56号＝220円**

◆かんたんに本誌を綴じることのできる◆

# バドミントン界専用合本バインダー12月発売

●定価 500円（送料実費） お申込みはハガキで

◆濃紺布張り・金文字押し・ノリ，穴あけ不要◆

▼カナダオープンで池田・栂野尾優勝▼ビギナーへの手紙▼母と子大会▼連載（小島）
57号＝品切れ
**58号＝220円**
▼中国・インドネシアついに対決▼デンマークオープン写真集▼連載（小島、中山）
**59号＝220円**
▼第2回訪中友好試合▼教職員大会▼インタハイ▼アジア大会速報▼連載（小島）
60号＝品切れ
**61号＝220円**
▼第29回国民体育大会▼東、西日本学生選手権▼全英選手権大会（ギルクス、ハルトノ、グナラン）連続写真▼連載
62号＝品切れ
**63号＝220円**
▼全日本総合選手権▼同写真集▼連載（小島）
**64号＝220円**
▼第4回国際競技会▼湯木ギルクスに快勝▼英国強し▼第6回全日本チャンピオンズ
**65号＝220円**
▼母鳥のバドミントン▼内外展望台▼第1回全日本総合団体戦▼デンマークオープン
66号＝品切れ
67号＝品切れ
**68号＝220円**
▼無念！ユ杯V4ならず▼湯木中山の大健闘もむなし▼バドミントンに賭けた青春・湯木
**69号＝220円**
▼ユ杯詳報▼湯木、中山マイペース▼相沢・竹中不調▼日本必死の防戦も及ばず
**70号＝220円**
▼インタハイ▼植野三冠に輝く▼男子は村田が制す▼東日本学生選手権
**71号＝220円**
▼ト杯東地区予選対香港▼日本完勝▼土田初出場で重責を立派に果たす
**72号＝220円**
▼全日本社会人大会▼小島、湯木が優勝▼全国の指導者に望むこと
**73号＝220円**
▼第4回日中競技会▼ヤングパワー林詩銓▼はつらつ劉霞▼中国ランキング
**74号＝220円**
▼全日本総合選手権▼小島不滅の金字塔▼湯木キズだらけの四連勝▼徳田白熱の善戦
**75号＝220円**
▼第30回国民体育大会▼神奈川が二年ぶり10度目の栄冠▼全日本学生選手権
**76号＝220円**
▼ト杯アジア東地区決勝対韓国▼日本9－0で完勝▼第5回国際競技会▼銭谷×シュナーゼ戦
**77号＝220円**
▼全日本総合選手権団体戦▼第7回全日本女子チャンピオンズ▼ジャカルタ新聞とユーバー杯
**78号＝300円**
▼全英選手権大会▼ハルトノ八回目の栄冠▼ギルクスは三冠王▼アジア招待大会▼スミラト中国勢を連破して優勝
**79号＝300円**
▼ト杯アジア地区決勝対マレーシア▼王国のバドミントンとスポーツ界▼夜明けの時代をふりかえって

**★申込方法★**
ハガキにご希望のナンバーと冊数を明記のうえ、左記あてお申し込みください。発送のさいに振込用紙を同封しますので、到着後代金をお振り込みください。なお、毎週一回集計のうえ集中的に発送するシステムをとりますので、約二～三週間の時間的余裕をみてください。
本誌専用合本バインダーもぜひ同時にお申込みください。

**★申込先★**
〒150 東京都渋谷区神南 一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会出版局

◆The Badminton World '77 Calendar

## 1977年バドミントン・カレンダー

●11月20日発売・定価 950円（送料実費）
●大型B3判 12ページ・オールカラー
●男女一流プレーヤーを網羅

◆第7回世界女子バドミントン選手権大会記録

## ユーバー杯奪還への道

●発売中・定価 1,000円（送料 120円）
●A5判 128ページ，うちカラー16ページ
●プレーヤー，指導者必読の書

## 事務局からのお知らせ

◆徳島県バドミントン協会の所在地が、住居番号の変更に伴い、つぎのとおりとなりました。

〒770徳島市城南町3－6－5
新見泰志気付
徳島県バドミントン協会
電話 0886－54－5844

◆島根県バドミントン協会会長および事務局がつぎのとおり変更となりました。

会長＝中川四郎（島根県議会議員）
協会事務局＝島根県松江市乃木福富町51 〒690
島根県立松江農林高等学校
岸一雄気付電話
0852－21－6772

## 編集室から

◆第83号（9月号）をお届けいたします。約一カ月の遅れですが年内に遅れを解消し、より高密度のものをお届けすることをお約束いたします。

◆今月号は全日本社会人選手権大会上位戦の結果と、試合後の談話を集めましたが、今大会は台風の影響による風水害のため新幹線運休、空路閉鎖寸前の便で宮崎に乗り込んだり、レンタカーを乗りついでようやく到着するなど、あわただしい開幕となったそうです。記者の派遣が行えなかったため、内容のとぼしい報告となりましたがご了承ください。

◆同じくオールスターダブルスも上位戦の記録と写真だけにとどまり申し訳ありません。5大都市体育大会は東京を除く横浜、名古屋、京都、大阪、神戸の都市対抗で、男女ともリーグ戦形式で和気あいあいの中にも熱戦の展開された大会でした。詳細な結果を報告いたします。

◆伊藤基記先生の連載はますます快調です。ご質問やご意見がありましたら本誌編集部あてご連絡ください。

◆現在のところどうしてもすでに終了した大会の記録が中心となっていますが、大会予想・見どころ・戦評・エピソードもふやし、同時に楽しい読物や技術向上の手引きを入れるように頑張っていますので、もうしばらくごしんぼう願います。

◆先月号で発表いたしました本誌バックナンバー頒布目録により、早速多くの読者の方々からご注文が届いております。当方の予想をはるかに上回る量のため事務処理に手間どっており、一部の方にご迷惑をおかけいたしましたが、ようやく軌道に乗ってまいりましたのでご安心ください。品切れになったものについては、その旨振込用紙の明細欄に記入してあり、また請求書明細もご確認を願います。代金は現品到着後一週間以内にお近くの郵便局からお振り込みください。申込部数が多い場合には、複数の郵便に分けて発送しており、一～二日のずれが生じますので、その点あらかじめご了承ください。

◆合本用バインダーも多数ご予約いただきましたが、予定どおり12月1日から発送を開始いたしますので、もうしばらくお待ちください。なお12月11日、12日の両日、全日本総合選手権大会会場（代々木の国立競技場第二体育館）でも、合本バインダー、77年カラーカレンダーを発売いたしますので、ご観戦のさいにご利用ください。

◆編集部では、「クラブ紹介」の記事を募集しております。写真を添えて編集部あてお送りください。学校のクラブ、職場のクラブ、ママさんクラブ、いずれでもけっこうです。

◆来月号は国体と全日本学生選手権、そして各種読物を予定しています。

## ＝昭和51年度 大会予定カレンダー＝

### ◆すでに行われた大会

第26回全日本実業団選手権大会 6月25～30日（藤沢市）
第27回全国高等学校選手権大会 8月1～6日（中野市）
第15回全日本教職員選手権大会 8月11～15日（東京都）
第6回全国中学生大会 8月18～20日（仙台市）
第19回全日本社会人選手権大会 9月12～15日（宮崎市）
第5回日中競技大会 9月下旬～10月上旬（北京市・他）
第31回国民体育大会競技 10月25～28日（佐賀県牛津町）
第27回全日本学生選手権大会 10月26～31日（東京都）

### ◆開催の準備を進めている大会

昭和51年度全日本総合選手権大会個人戦 12月8～12日（東京都）
昭和51年度全日本総合選手権大会団体戦 2月19～20日（東京都）
国際大会（招待） 第6回国際競技大会 1月下旬～2月上旬（東京都・他）
国際大会（派遣） 第4回アジア選手権大会 10月29～11月7日（ハイデラバット市）
第20回全カナダオープン選手権大会 12月1～4日（トロント市）
第25回全デンマークオープン選手権大会 3月12～15日（コペンハーゲン市）
第67回全英オープン選手権大会 3月23～26日（ウエンブレー市）

バドミントン界 第83号 第8巻第9号 定価 300円

昭和51年9月1日発行
編集／発行人・秦 浩

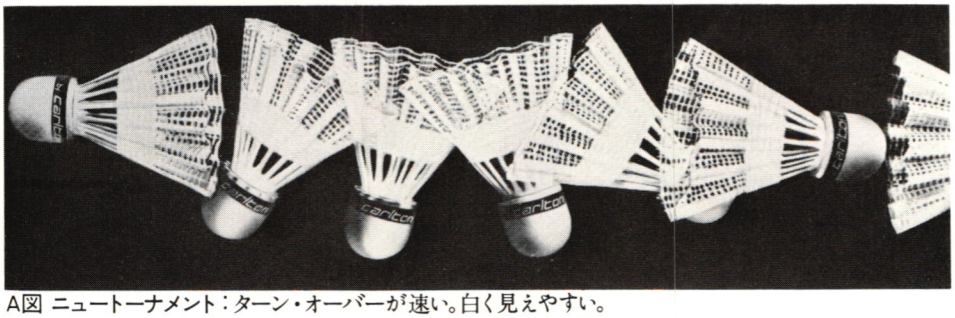
©1976 無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号150 東京都渋谷区神南1－1－1 岸記念体育会館
電話 03－467－3111（代表）内線351／03－467－7095（直通）
振替 東京5-32193（協会） 東京5-9525（編集部）

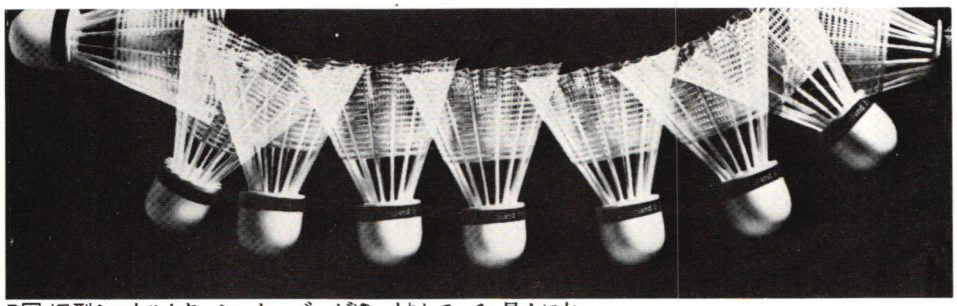
印刷所・明宏印刷株式会社 東京都豊島区南大塚2－29－8

# 飛びが違う「カアルトン。

## 再開発でカアルトンは水鳥シャトルに匹敵する性能になりました。



A図 ニュートーナメント：ターン・オーバーが速い。白く見えやすい。



B図 旧型シャトル：ターン・オーバーがゆっくりしている。見えにくい。

いかなる技術改良を重ねても、ナイロン・シャトル・コックは、水鳥シャトルの性能と同じにすることは、決してできないと、多くの人が信じていました。私達はこのムダとも思える努力に敢然と挑戦しました。その結果、あらゆる人々が私達の成功を認めている以上に、私達はこの成功に自信をもっております。

カアルトンが製造する〈ニュートーナメント〉シャトル・コックは、2つの点をグレース・アップし、その成功に応えています。まず、従来のベースから新しい固いベースに改良し、飛翔状態をまったく変えました。旧型シャトルとニュートーナメントの弾道をくらべて下さい。(分解写真参照)あきらかにその違いが分ります。ニュートーナメントのシャトルのターン・オーバーは旧型にくらべ、すばらしく速くなっています。これは、ナイロン・シャトル・コックの主な批判に対して、サーブを短くし、ネット・プレーをより正確にすることで克服しました。(この他に、シャトルの打球音、ラケットの接触感が、ずっと満足できるものになりました。)

分解写真をごらん下さい。A図は白く、B図は灰色に見えます。これは印刷のミスでなく、すべてニュートーナメントの構造のためです。旧型にくらべてずっと網目が入り組んでるのが判別できます。新しい設計でシャトルは旧型よりも速くスピンします。そのため白く、見えやすい訳です。

私達は、いままでご説明した2つの再開発で、水鳥シャトルに匹敵する性能になったと考えます。それと、水鳥シャトルよりも優れた2つの点も明らかにしなければなりません。それは、**価格**(水鳥シャトルにくらべ、ずっと安い)と**耐久性**(水鳥シャトルよりも、はるかに長持ちする)です。

この水鳥シャトルのレベルに達したニュートーナメントの優れた感触を、あなたご自身で、存分にお確かめ下さい。

ニュートーナメント1個￥280　　インターナショナル1個￥220

carlton

勝利を招く世界のカアルトン

総発売元 **メトロレジャー株式会社**

〒101 東京都千代田区外神田5-6-4 ☎(03)833-3661(代)

※ニュートーナメントは世界各国の協会で、試合球として採用されております。

月刊「バドミントン界」第83号
昭和五十一年九月一日発行（毎月一回一日発行）
昭和四十四年十二月二十三日　第三種郵便物認可
発行所
東京都渋谷区神南一ノ一ノ一
岸記念体育会館内
日本バドミントン協会　定価三〇〇円


# このマークを語らずに

K

# 「世界の日本」は語れない。



NO.B-75〈エリート〉
モスグリーンメタリック（ケース付）
フレーム価格￥5,000



NO.B-73〈オールマン〉
ブルーメタリック（ケース付）
フレーム価格￥4,500

日本バドミントン協会推薦

カワサキラケット
河崎ラケット工業株式会社